

Endeavor

LX7700



ユーザズマニュアル


ご使用前に


- ご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「マニュアル」は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

安全にお使いいただくために


このマニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。




 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
--	-------------------------------------









障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を必ず接地（アース）して使用することを示しています。




⚠ 警告

 	<p>煙が出たり、変な臭いや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターにご相談ください。 お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。</p>
 	<p>マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。</p>
 	<p>交流100V以外では使用しないでください。 指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。</p>
 	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。</p>
 	<p>通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。</p>
 	<p>異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、カスタマーサービスセンターにご相談ください。</p>
 	<p>破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。 ・電源コードを加工しない。 ・無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりしない。 ・電源コードの上に重いものを載せない。 ・発熱器具の近くに配線しない。 電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターにご相談ください。</p>
 	<p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱し、火災の原因となります。 家庭用電源コンセント（交流100V）から電源を直接取ってください。</p>
	<p>電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 取り扱いを誤ると、火災の原因となります。 ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。 ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。 ・電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。 電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。</p>

⚠ 警告

	<p>本体カバーを外して作業するときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。 電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。</p>
	<p>小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。 飲み込むと化学物質による被害の原因となります。 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。</p>
	<p>小さなお子様の手の届くところに、マウスボールやフレームを取り外したまま放置しないでください。 口に入れたりすると窒息する危険があります。</p>
	<p>マウスボールは、絶対に投げないでください。 マウスボールの芯には鋼球が入っていますので、人に当たるとけがをする危険があります。</p>
	<p>雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。 感電の原因となります。</p>
	<p>電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。 接地しないで使用すると、感電の危険性があります。 アースは必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。</p>
	<p>アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。 火災の原因となります。</p>
	<p>アース端子をコンセントに挿入または接触させないでください。 感電の危険があります。</p>

⚠ 注意

	<p>小さなお子様の手の届くところには設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。</p>
	<p>不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。</p>
	<p>湿気やホコリの多い場所に置かないでください。 感電・火災の危険があります。</p>

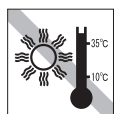
⚠ 注意

 	<p>本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。 設置する際は、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。 ・じゅうたんや布団の上などに設置しない。 ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。
	<p>連休や旅行等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
 	<p>各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。 配線を誤ると、火災の危険があります。</p>
 	<p>拡張ボードやメモリの交換・増設などは本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、本機の内部が十分冷めてから行ってください。</p>
	<p>本機を移動させる場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。</p>
 	<p>ヘッドフォンやスピーカは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。 ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。</p>
 	<p>長時間あるいは不自然な姿勢でのコンピュータ操作は避けてください。 肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。</p>
 	<p>CD/DVDドライブのディスクトレイに手を入れ、挟まれないようにしてください。 けがの原因になります。</p>
 	<p>CD/DVDドライブで、ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。 内部で飛び散って、故障したり、メディア取り出し時にけがをしたりする危険があります。</p>
 	<p>本機は重いので、開梱や移動する場合は1人で行わないでください。 必ず2人以上で行ってください。</p>
 	<p>本機を廃棄する場合は、法律に従って正しい処理をしてください。</p>

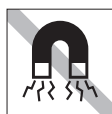
製品保護上の注意

▶使用・保管時の注意

本機（コンピュータ）は精密な機械です。故障や誤動作の原因となりますので、次の注意事項を必ず守って、本機を正しく取り扱ってください。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。また、急激な温度変化も避けてください。故障、誤動作の原因になります。適切な温度の目安は10℃～35℃です。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。本機の誤動作が生じたり、データが破損したりすることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。



直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。故障、誤動作の原因になります。また、直射日光などの紫外線は、変色の原因になります。



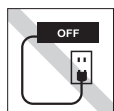
電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリ上から消えてしまいます。



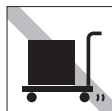
本機の上には重い物を載せないでください。重圧により、故障や誤動作の原因となることがあります。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。汚れは、中性洗剤をしたたらない程度に染み込ませた柔らかい布で軽く拭き取ってください。



コンセントに電源プラグを接続したまま、本体カバーを外して作業しないでください。電源を切っても、本機内部に微少な電流が流れているため、ショートして故障の原因となります。



遠隔地に輸送するときや保管するときには、裸のままで行わないでください。衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



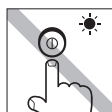
移動するときには、振動や衝撃を与えないようにしてください。内蔵の周辺機器（HDD、CD/DVDドライブなど）も含めて、故障、誤動作の原因となります。



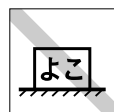
輸送や保管をするときは、付属物をセットしたままにしないでください。配線ケーブルはすべて取り外し、CD/DVDメディアなどは取り出してください。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因になります。



アクセスランプ点灯中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



コンピュータ本体を横置きにしないでください。故障、誤作動の原因になります。本機は縦置き専用に設計されています。

▶記録メディア

以下のような取り扱いをすると、次の記録メディアに登録されたデータが破損するおそれがあります。記録メディアの種類は、次のとおりです。

FD FD

CD CD/DVDメディア

記録メディアの種類を指定していない場合は、すべての記録メディアに該当します。



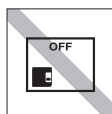
直射日光が当たる所、暖房器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



アクセスランプ点灯/点滅中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



上に物を載せないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、裸のまま放置したりしないでください。専用のケースに入れて保管してください。



キズを付けないでください。



ゴミやホコリの多いところでは、使用したり保管したりしないでください。



クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



アクセスカバーを開けたり、磁性面あるいは金属単子に触れたりしないでください。

FD



磁性面あるいは金属単子にホコリや水を付けないでください。シンナーやアルコールなどの溶剤類を近づけないでください。

FD



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。

FD



何度も読み書きしたFDは使わないでください。

磨耗したFDを使うと、読み書きでエラーが生じることがあります。

FD



信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。

CD



レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。

CD



レコードのように回転させて拭かないでください。内側から外側に向かって拭いてください。

CD



CD/DVDドライブのデータ読み取りレンズをクリーニングするCDは使わないでください。

CD



シールを貼らないでください。

CD



信号面（文字などが印刷されていない面）に文字などを書き込まないでください。

CD



温度差の激しい場所に置かないでください。結露する可能性があります。

CD

▶マウス

マウスは精密な機械です。次の点に注意して操作してください。



落としたり、ぶついたりして強い衝撃を与えないでください。



マウスボールを素手で触らないでください。



平らな場所で使用してください。でこぼこのある場所ではマウスボールの回転が不規則になり、マウスの動きがコンピュータに正確に伝わりません。



持ち運びの際はマウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。



ゴミやホコリの多いところで使用したり、保管したりしないでください。マウスボールにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因になります。

目次

製品保護上の注意	6	5.25型ドライブベイへの装着	48
使用・保管時の注意	6	5.25型ドライブの取り付け・取り外し ...	48
記録メディア	7	5.25型ドライブの取り付け・取り外し後の作業 ...	51
マウス	8	HDDベイへの装着	52
マニュアル中の表記について	10	HDDの取り付け・取り外し	52
		HDDの取り付け・取り外し後の作業 ...	55
使い始めるまでの準備		IDE装置の装着	56
ご使用前の前に	12	Ultra ATAコネクタ	56
ご使用前の確認事項	12	S-ATAコネクタ	58
本機の特長	13	ドライブ装置の接続例	59
各部の名称と働き	14	BIOSの設定	
本体前面	14	BIOSの設定を始める前に	64
本体背面	15	BIOS Setupユーティリティの操作	65
FDD (オプション)	16	BIOS Setupユーティリティの起動	65
コンピュータの設置	17	BIOS Setupユーティリティの操作	66
		設定値をもとに戻すには	69
		Passwordの設定	70
		BIOS Setupユーティリティの終了	72
システムの拡張		BIOS Setupユーティリティの設定項目	73
拡張できる装置	26	Mainメニュー画面	74
作業時の注意	27	Advancedメニュー画面	75
拡張時の準備作業	28	Power メニュー画面	77
本体カバーの取り外し・取り付け	28	Bootメニュー画面	78
フロントパネルの取り外し・取り付け ...	31	Exitメニュー画面	80
フェイスプレートの取り外し・取り付け ...	32	BIOSの設定値	80
メモリの増設	34		
メモリの仕様	34	付録	
メモリ装着の組み合わせと順番	35	お手入れ	84
メモリの取り付け・取り外し	35	本機のお手入れ	84
メモリの増設・交換後の作業	39	リチウム電池の交換	85
拡張ボードの装着	40	CMOS RAMの初期化	88
拡張スロットの仕様	40	コンピュータ内部のケーブル接続	90
拡張ボードの取り付け・取り外し	40	警告メッセージが表示されたら	91
拡張ボードの取り付け・取り外し後の作業 ...	43	機能仕様一覧	92
3.5型ドライブベイへの装着	44		
3.5型ドライブの取り付け・取り外し ...	44		
3.5型ドライブの取り付け・取り外し後の作業 ...	47		

マニュアル中の表記について

本書では次のような記号を使用しています。

安全に関する記号



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号



制限事項です。
機能または操作上の制限事項を記載しています。



参考事項です。
覚えておくと便利なことを記載しています。



本書とは別のマニュアルを示します。
例) 『梱包品の確認』: 本機に添付の『梱包品の確認』を示します。




参照先を示します。



1 2



操作手順です。
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。



 で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。



 はEnterキーを表します。また、 は $N_{み}$ のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。

＋の前のキーを押したまま＋の後のキーを押します。
この例では、 を押したまま  を押します。

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
FD	フロッピーディスク
FDD	フロッピーディスクドライブ
CD/DVDメディア	CDメディア、DVDメディア
CD/DVDドライブ	CD/DVDメディアを使用するためのドライブの総称

使い始めるまでの準備

コンピュータの各部の名称と働き、接続方法について説明します。

ご使用前に

▶ご使用前の確認事項

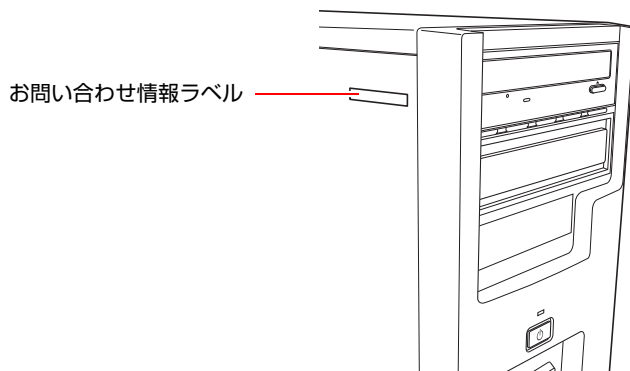
貼付ラベルの確認

本機の次の場所には、製品情報が記載されたラベルが貼られています。本機をご使用前に、ラベルが貼られていることを確認してください。ラベルは絶対にはがさないでください。

●お問い合わせ情報ラベル

お問い合わせ情報ラベルには、型番や製造番号が記載されています。弊社にサポート・サービスに関するお問い合わせをいただく際には、これらの番号が必要です。

お問い合わせ情報ラベルに記載されている製造番号は、『サポート・サービスのご案内』の表紙に書き写しておいてください。



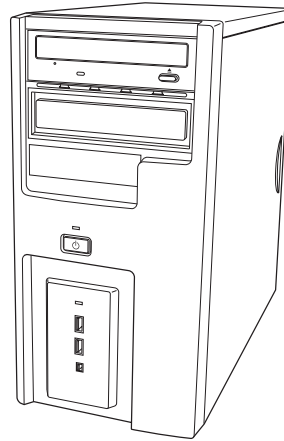
サポート・サービスのご案内

別冊子『サポート・サービスのご案内』には、弊社のサポートやサービスの内容が詳しく記載されています。

困ったときや、万一の場合に備えてお読みいただくことをおすすめします。

▶本機の特長

本機の特長は、次のとおりです。



CPU

インテルPentium 4またはCeleron D プロセッサを搭載しています。

チップセット

Intel 945G Express + ICH7チップセットを搭載しています。

メモリ容量

PC2-4200 (DDR2-533 SDRAM) を使用、最大3GBまで増設可能です。

拡張ベイ

次の拡張ベイを装備しています。

- 5.25型ベイ×2
- 3.5型ベイ×1
- HDDベイ×3

拡張スロット

次の拡張スロットを装備しています。

- PCI Express x16 スロット×1本
- PCI スロット×3本

サウンド機能

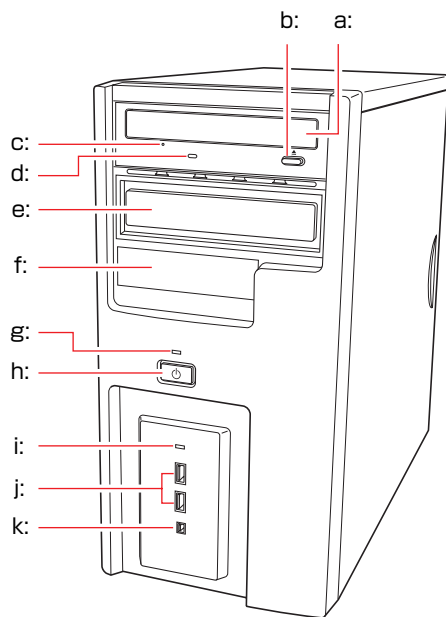
チップセット内蔵 (Intel HDオーディオ (リアルテックオーディオCODEC)) のサウンド機能をメインボード上に搭載しています。

ネットワーク機能

10 Base-T/100 Base-T対応のLANコネクタを装備しています。

各部の名称と働き

▶ 本体前面



a: CD/DVDドライブ

CD/DVDメディアの読み込み、書き込みを行います。お使いのCD/DVDドライブにより使用できるメディア、機能は異なります。

b: CD/DVDドライブイジェクトボタン
ディスクトレイの開閉を行います。

c: CD/DVDドライブイジェクトホール
ディスクトレイが開閉しなくなったときに使用します。


d: CD/DVDドライブアクセスランプ
CD/DVDメディアへのアクセス中や音楽CD再生中に点灯・点滅します。

e: 5.25型ドライブベイ
5.25型のドライブ装置を取り付けます。


f: 3.5型ドライブベイ
3.5型のドライブ装置を取り付けます。

g: 電源ランプ 


電源を入れると点灯します。スタンバイ中は点滅します。

h: 電源スイッチ 


コンピュータ本体の電源の入/切を行います。

i: HDDアクセスランプ 

HDDにアクセスしているときに、点灯・点滅します。

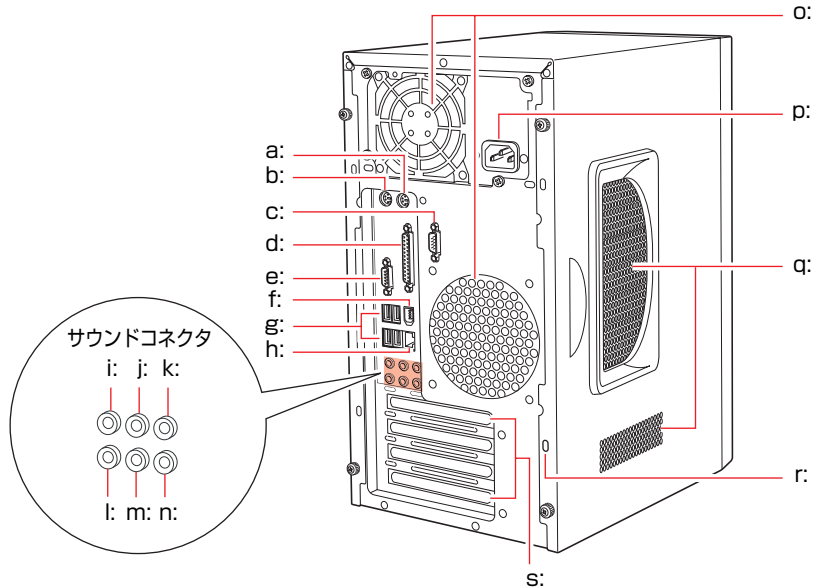
j: USB2.0コネクタ 

USB機器を接続します。

k: IEEE1394コネクタ 

IEEE1394機器を接続します。
(4ピン)

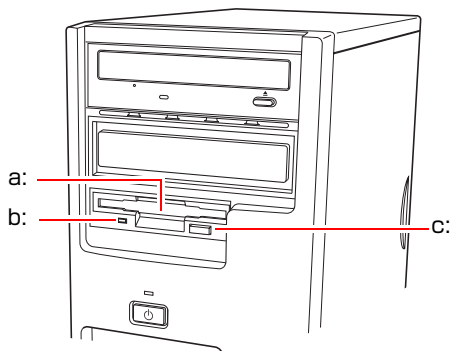
▶ 本体背面



- a: マウスコネクタ (PS/2)
マウスを接続します。
- b: キーボードコネクタ (PS/2)
キーボードを接続します。
- c: シリアルコネクタ
モデムなど、RS-232Cインタフェースに対応した装置を接続します。
- d: パラレルコネクタ
プリンタや、スキャナなどパラレルコネクタに対応した装置を接続します。
- e: VGA (モニター) コネクタ
ディスプレイを接続します。
- f: IEEE1394コネクタ *1394*
IEEE1394機器を接続します。(6ピン)
- g: USB2.0コネクタ
USB機器を接続します。
- h: LANコネクタ
ネットワーク接続用のコネクタです。
- i: サイドスピーカ出力コネクタ
サイドスピーカを接続します。
- j: リアスピーカ出力コネクタ
リアスピーカを接続します。
- k: センタースピーカ/サブウーファ出力コネクタ
センタースピーカ、サブウーファを接続します。
- l: マイク入力コネクタ
マイクを接続します。
- m: フロントスピーカ/ライン出力コネクタ
フロントスピーカやヘッドフォンなどを接続します。
通常、スピーカはこのコネクタに接続します。
- n: ライン入力コネクタ
オーディオ機器の出力信号線を接続します。
- o: 冷却ファン
内部で発生する熱を逃したり、冷ましたりします。
- p: 電源コネクタ
添付の電源コードを接続して電気を供給します。
- q: 通風孔
外気を取り入れます。
- r: セキュリティロックスロット
市販の盗難防止用ケーブル (ワイヤー) を取り付けます。
- s: 拡張スロット
拡張ボードを装着します。

▶FDD (オプション)

本機購入時にFDDをオプション選択された場合、本機にはあらかじめFDDが装着されています。



a: 3.5型FDD

3.5型FDのデータの読み込み、書き込みを行います。

b: FDDアクセスランプ

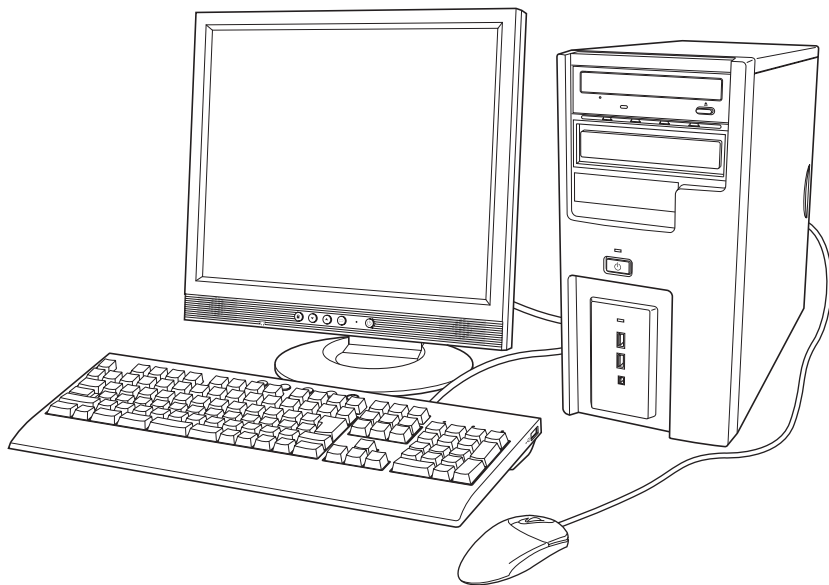
FDに読み書きを行っているときに点灯します。

c: FDDイジェクトボタン

FDDにセットしたFDを取り出すときに押します。

コンピュータの設置

本機を安全な場所に設置し、キーボードやマウス、電源コードなどを接続して使用できる状態にする手順を説明します。



設置における注意



注意

- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。設置する際は、次の点を守ってください。
 - ・ 押し入れや本箱などの風通しの悪いところに設置しない。
 - ・ じゅうたんや布団の上に設置しない。
 - ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

故障や誤動作を防ぐため、p.6「製品保護上の注意」にある注意事項を守って設置場所を決めてください。

各種コード（ケーブル）接続時の注意



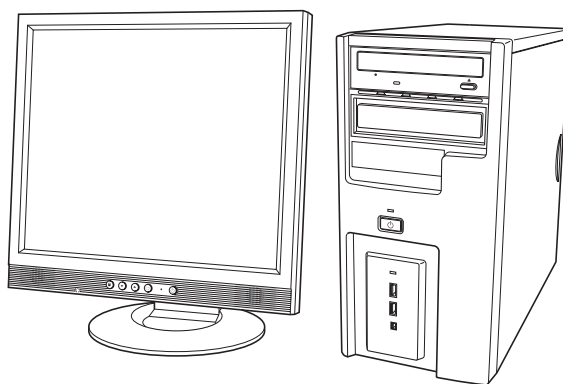
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
 - ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。



- 各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしてしないでください。配線を誤ると、火災の危険があります。
- ヘッドフォンやスピーカを使用するときは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。

設置


- 1 本機とディスプレイを設置場所（丈夫で水平な台の上など）に置きます。本機は横置きで使用できません。必ず縦置きでお使いください。

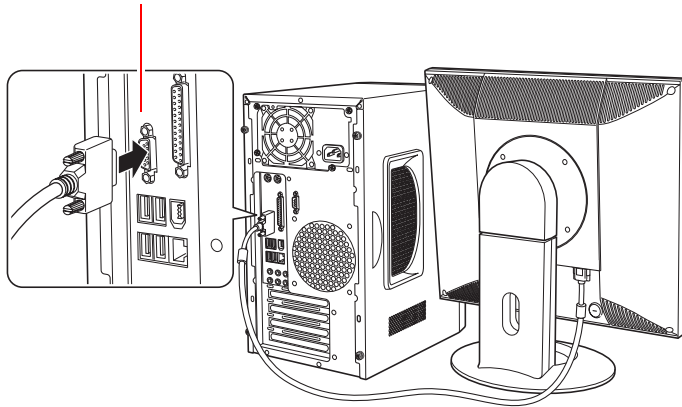


ディスプレイの接続

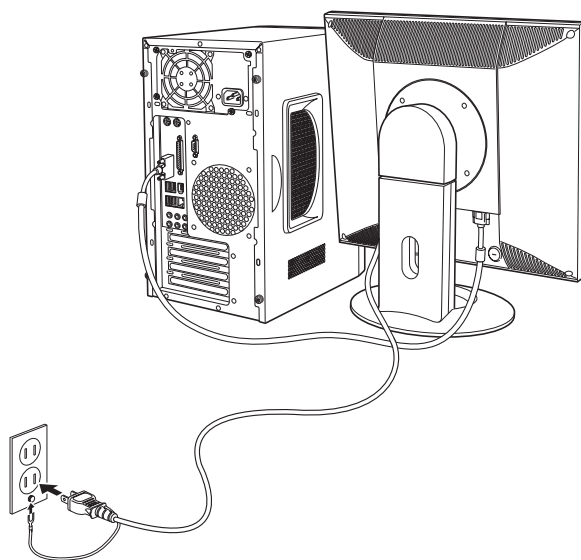
接続の方法は、お使いになるディスプレイにより多少異なります。ディスプレイの取扱い上の注意や詳しい使用方法是、お使いになるディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

- 2** ディ스플레이のVGAケーブルを、本機背面のVGA（モニタ）コネクタ（青色）に接続します。

VGA（モニタ）コネクタ 



3 ディスプレイの電源コードを、家庭用電源コンセントに接続します。

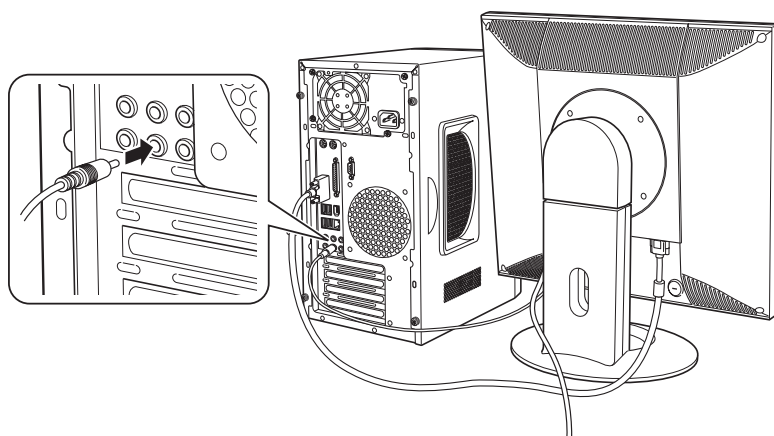


スピーカの接続

本機にはスピーカは内蔵されていません。音声を出力したい場合は、スピーカやスピーカが搭載されているディスプレイなどとの接続が必要です。ここでは一般的な接続方法を説明します。詳しくはディスプレイやスピーカに添付のマニュアルをご覧ください。

4 ディスプレイやスピーカのオーディオケーブルを本機背面のサウンドコネクタに接続します。

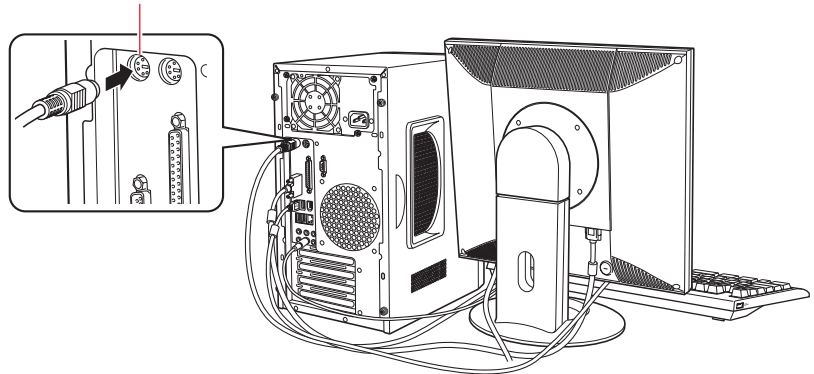
オーディオケーブルが一本の場合は、フロントスピーカ/ライン出力コネクタに接続します。スピーカにより、接続するケーブルの数は異なります。



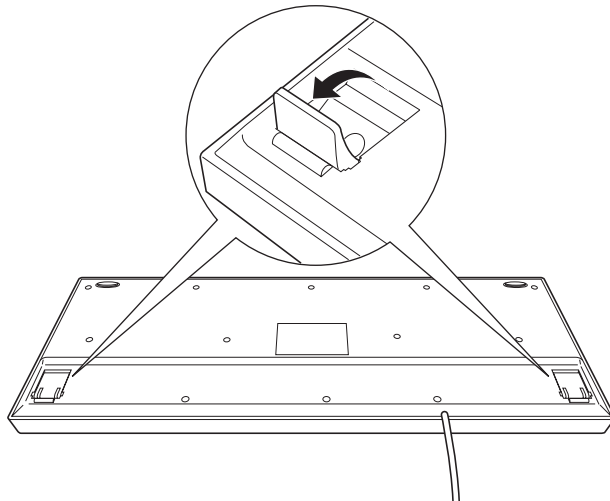
キーボードの接続

- 5 キーボードケーブルのPS2 コネクタを本機背面のキーボードコネクタ（紫色）に差し込みます。

キーボードコネクタ（紫色）



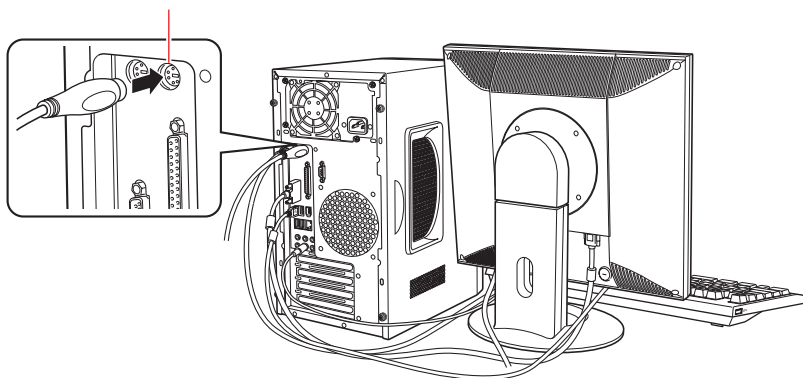
キーボードは操作しやすい位置に置き、傾斜させるときは、両端の脚を起こします。



マウスの接続

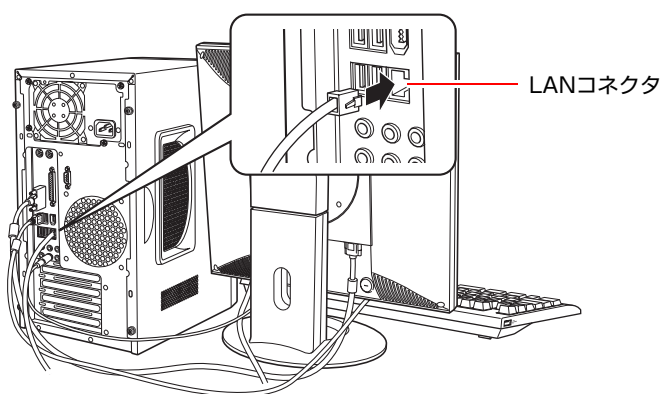
- 6 マウスケーブルの PS2 コネクタを本機背面のマウスコネクタ（緑色）に差し込みます。

マウスコネクタ（緑色）



ネットワークへの接続

- 7 ネットワークに接続できる環境で、メインボード上のネットワーク機能を使用する場合は、市販のLANケーブルをLANコネクタに接続します。
ネットワークボード使用時は、ネットワークボード上のLANコネクタに接続します。
インターネットに接続する場合は、通信サービス会社やプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。



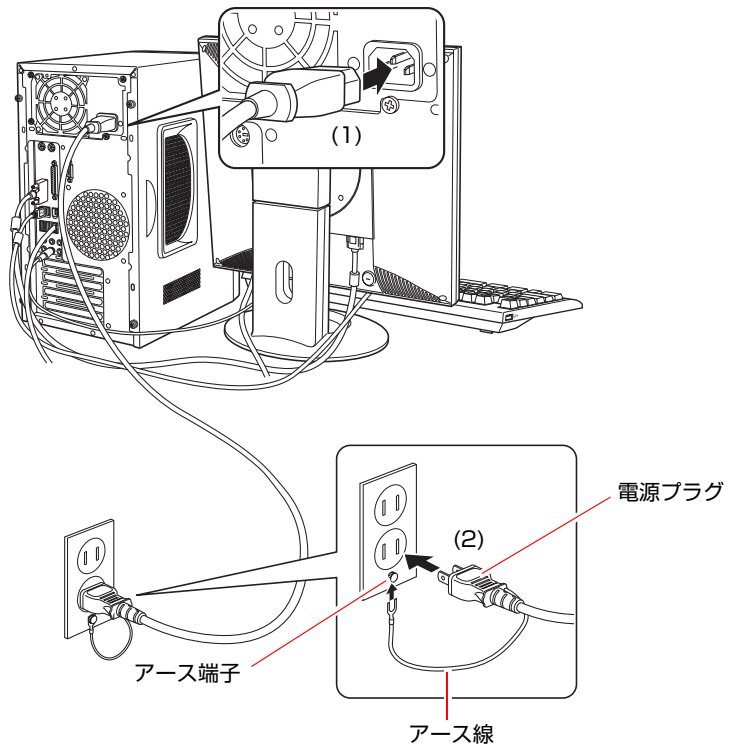
電源コードの接続

8 電源コードを接続します。

(1) 電源コードを本機の電源コネクタに接続します。

(2) 電源プラグを、家庭用電源コンセントに接続します。

アース線は、必ずコンセントのアース端子に接続してください。



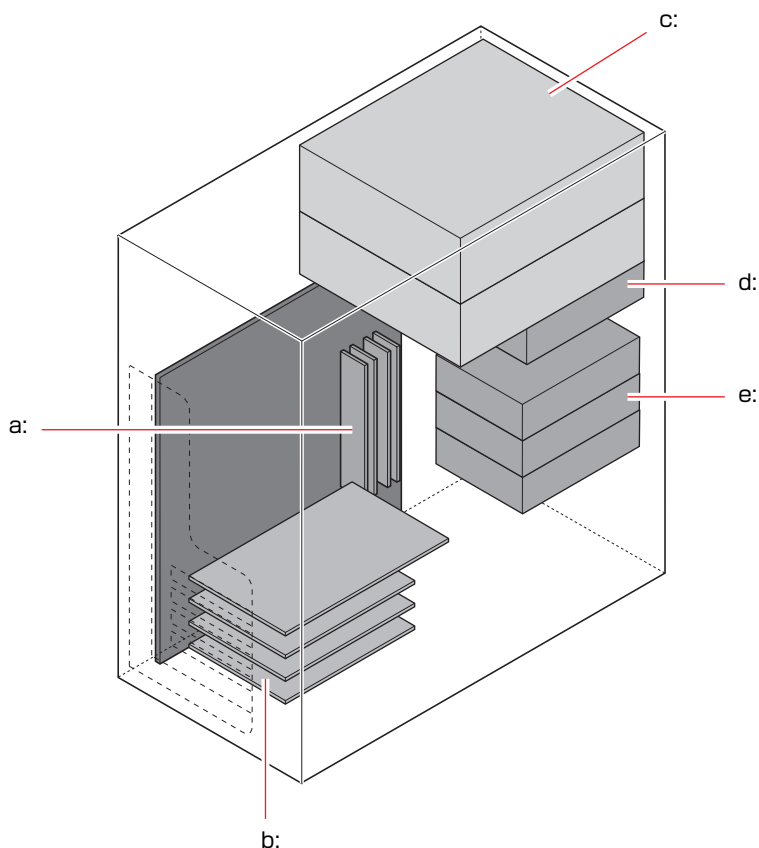
これでコンピュータの設置は終了です。

システムの拡張

コンピュータに内蔵オプション装置を装着して機能を拡張する方法を説明します。


拡張できる装置

本機には、次の各部に装置を増設・交換して機能を拡張することができます。ただし、購入時にいくつかの装置がすでに装着されているため、実際に拡張できる装置の数は異なります。



a: メモリスロット


メモリを4枚、最大3GBまで装着することができます。

 p.34 「メモリの増設」

b: 拡張スロット


次の拡張ボードを装着することができます。

- ・ PCI Express x16ボード 1枚
- ・ PCIボード 3枚

 p.40 「拡張ボードの取り付け・取り外し」


c: 5.25型ドライブベイ

5.25型の装置（CD/DVDドライブなど）やマウントフレームを取り付けたMOドライブなどを2台まで装着することができます。

 p.48 「5.25型ドライブベイへの装着」

d: 3.5型ドライブベイ

3.5型の装置（FDDなど）を1台装着することができます。

 p.44 「3.5型ドライブベイへの装着」

e: HDDベイ

S-ATA仕様の3.5型HDDを3台まで装着することができます。

 p.52 「HDDベイへの装着」

作業時の注意

コンピュータ内部に装置を装着する場合は、必ず次の点を確認してから作業を始めてください。



- コンセントに電源プラグを接続したまま作業をしないでください。感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや感電・火災の原因となります。



- 装置の増設・交換作業は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、本機の内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



- 本機は電源を切っても、電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。作業を始める前に必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。
- 取り付けを行う際は、取り付ける装置に添付されているマニュアルを必ず参照してください。
- 本機および接続している周辺機器の電源は必ず切ってください。電源を切ったら、本機から周辺機器を取り外してください。
- コンピュータ内部のケースや基板には突起があります。装着作業の際には、けがをしないよう注意してください。
- 作業直前には、金属のものに触れるなどして、静電気を逃がしてから、作業を行ってください。
- メモリ、拡張ボードの端子部やコネクタ部に触れないでください。
- 拡張ボードやメモリの取り付け・取り外しを行うときは、裏表や前後を間違えないでください。間違えて装着すると故障の原因となります。本書や拡張ボードに添付のマニュアルの指示に従って、正しく装着してください。

拡張時の準備作業

装置の拡張作業を行う場合は次の準備作業が必要です。各装置の拡張手順に従って、必要に応じて作業を行ってください。



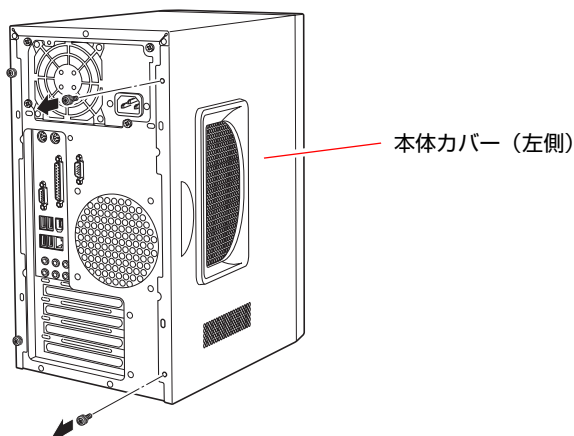
コンセントに電源プラグを接続したまま作業をしないでください。
感電・火傷の原因となります。

▶ 本体カバーの取り外し・取り付け

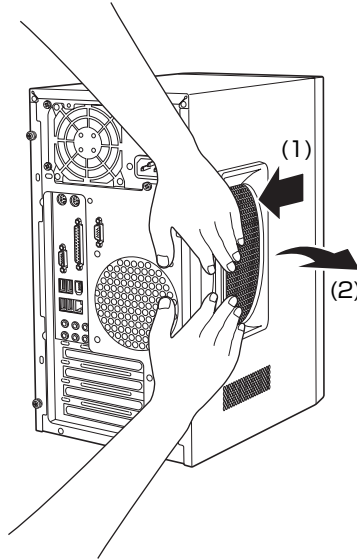
本機の内部に装置を装着する場合は、本体カバーを外す必要があります。
本体カバーは、次の手順で取り外し・取り付けを行います。
ここでは左側の本体カバーを取り外す手順を説明しています。右側のカバーを取り外す場合も同様の手順で行ってください。

取り外し

- 1** コンピュータの電源が入っている場合は、コンピュータ本体の電源を切ります。
コンピュータ内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピュータに接続しているケーブル類（電源ケーブル等）をすべて外します。
- 3** 本体左背面のネジ（2本）を外します。



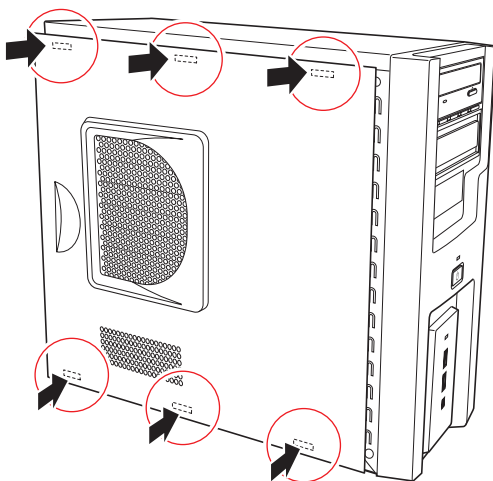
- 4** 本体カバーを取り外します。
- (1) 本体カバーを本体背面側にスライドさせます。
 - (2) 本体カバーを真横へ開いて外します。



取り付け

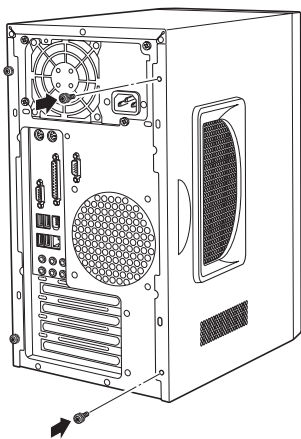
1 本体カバーを本体側面にかぶせます。

本体側面の穴（6個）とカバーの突起（6個）の位置を合わせて、横からまっすぐかぶせます。



2 本体カバーを前面側にスライドさせます。

3 ネジ（2本）で本体カバーを固定します。




▶フロントパネルの取り外し・取り付け

本機の内部に装着する装置によっては、フロントパネルを取り外す必要があります。

フロントパネルは、次の手順で取り外し・取り付けを行います。

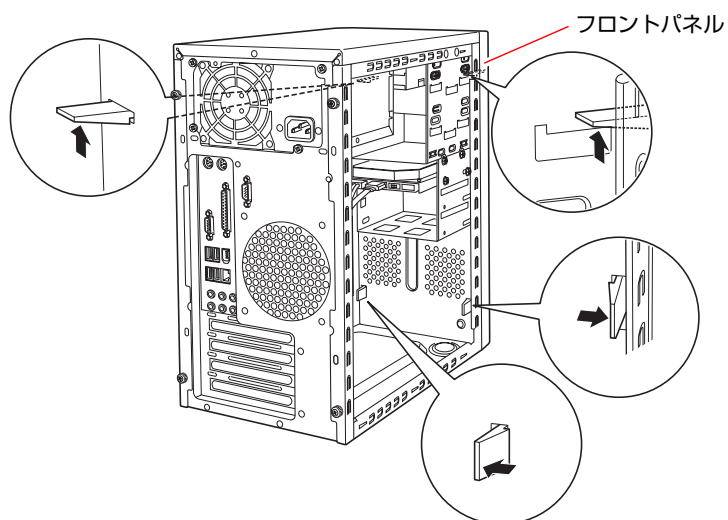
取り外し

- 1 本体カバー（左右両側）を取り外します。

 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」

- 2 フロントパネルを取り外します。

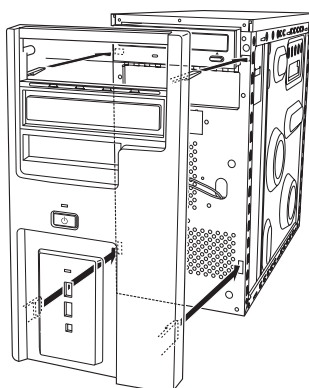
上下2個ずつあるフックを矢印の方向に押しはずします。



取り付け

フロントパネルを取り付けます。

フロントパネルのフックを本体の穴に合わせて押し込みます。



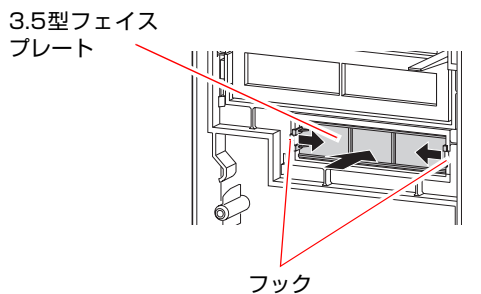
▶フェイスプレートの取り外し・取り付け

3.5型フェイスプレートの取り外し

3.5型のドライブ装置を増設する場合は、3.5型フェイスプレートを取り外します。

フロントパネルの裏側から、フェイスプレート両側のフックを外し、押し出します。

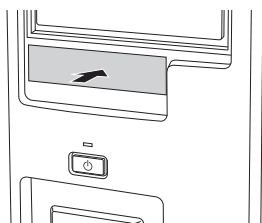
外したフェイスプレートは大切に保管してください。



3.5型フェイスプレートの取り付け

3.5型のドライブ装置を外した後、何も取り付けない場合は、コンピュータ内部にホコリが入らないようにフェイスプレートを取り付けます。

フロントパネルの表側から、フェイスプレートを押し込みます。



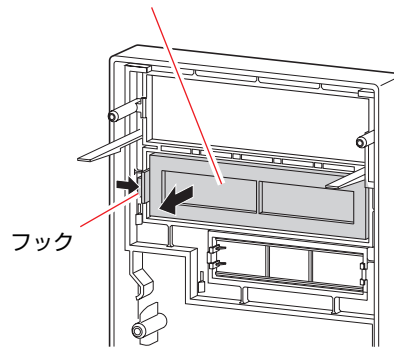
5.25型フェイスプレートの取り外し

5.25型のドライブ装置を増設する場合は、5.25型フェイスプレートを取り外します。

フロントパネルの裏側から、フェイスプレートのフックを外し、表側からフェイスプレートを押し出します。

外したフェイスプレートは大切に保管してください。

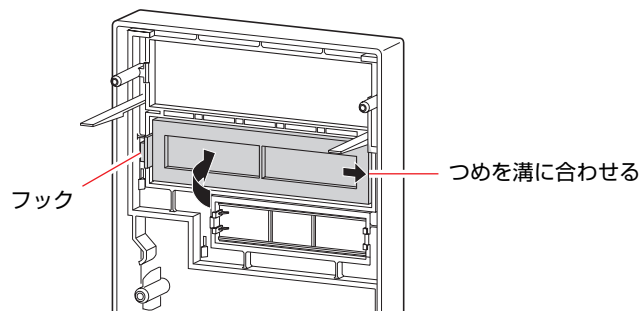
5.25型フェイスプレート



5.25型フェイスプレートの取り付け

5.25型のドライブ装置を外した後、何も取り付けない場合は、コンピュータ内部にホコリが入らないようにフェイスプレートを取り付けます。

フェイスプレートのつめをフロントパネルの溝に合わせ、フック側をカチッと音がするまで押し込みます。



メモリの増設

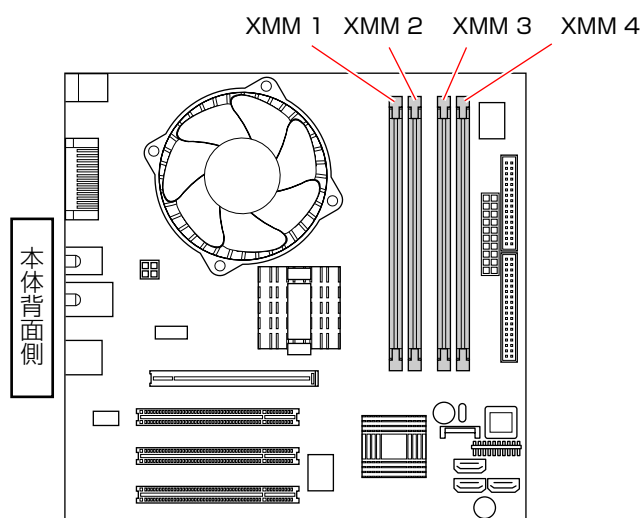
本機で使用可能なメモリの仕様と、メモリの取り付け方法について説明します。

▶メモリの仕様

本機には、4本のメモリスロットが用意されており、メモリを最大3GB (1024MB×2+512MB×2) まで拡張できます。

本機は、同一容量のメモリを2枚1組で使用することにより、高速なメモリ転送速度を実現しています。

メインボード上のメモリスロットの位置は、次のとおりです。



メモリは、XMM1スロットから取り付けます。購入時、XMM1スロットにはあらかじめメモリが取り付けられています（購入時の選択により、メモリの容量と枚数は異なります）。

本機で使用可能なメモリの仕様は、次のとおりです。

- PC2-4200 DIMM (DDR2-533 SDRAM使用、240ピン)
- メモリ容量 256MB、512MB、1024MB
- Non ECC

最新メモリ情報

今後、新しいメモリを取り扱う場合があります。

本機で使用可能な最新のメモリは、弊社ホームページの「純正オプション」でご確認ください。

<http://epsondirect.jp>

▶メモリ装着の組み合わせと順番

本機のメモリスロットにメモリを装着する場合は、次の点に注意して装着してください。

- メモリはXMM1スロットから取り付けます。
- メモリを2枚以上装着する場合は、同一容量のメモリを2枚1組で装着してください。

なお、メモリを4枚装着する場合、1組目と2組目の容量が異なっても問題はありません。

メモリを2枚以上装着する場合の組み合わせと順番は、次のとおりです。

メモリ装着順	メモリスロット
1組目	XMM1スロット+XMM3スロット
2組目	XMM2スロット+XMM4スロット



▶メモリの取り付け・取り外し

作業を始める前にp.27「作業時の注意」を必ずお読みください。

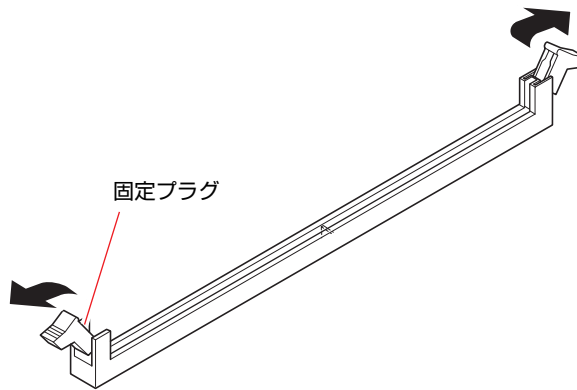
作業を行う場合は、必要に応じて本体を横置きにしてもかまいません。

メモリの取り付け方法は次のとおりです。

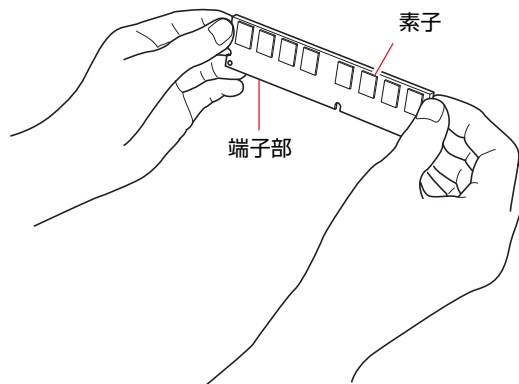
取り付け

- 1** コンピュータの電源が入っている場合は、コンピュータの電源を切ります。
コンピュータ内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピュータに接続しているケーブル類（電源ケーブル等）をすべて外します。
- 3** 本体カバー（左側）を外します。
 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 4** PCI Express x16スロットに拡張ボードが装着されている場合は、拡張ボードを外します。
 p.40 「拡張ボードの取り付け・取り外し」

5 メモリスロットの固定プラグを開きます。

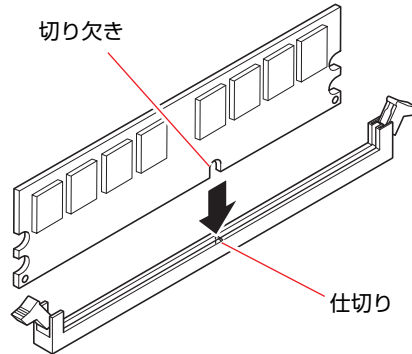


6 メモリを静電防止袋から取り出します。
メモリの端子部や素子に触れないように注意します。

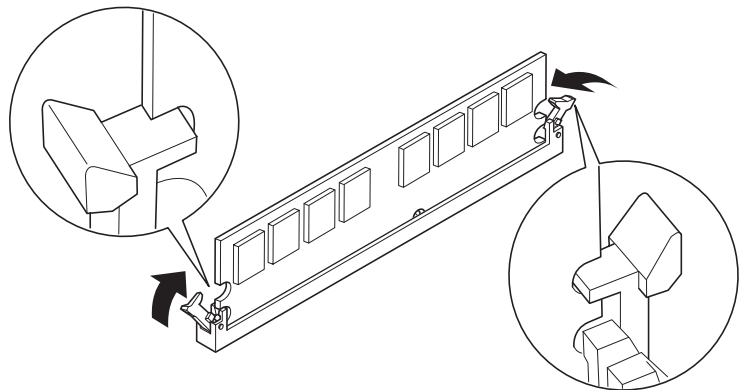



7 メモリスロットにメモリを差し込みます。

(1) メモリの切り欠きをメモリスロット内の仕切りに合わせます。




(2) さらに押し込むと、固定プラグが閉じて、メモリが固定されます。
必ず、メモリが固定されたことを確認してください。

**8** 手順4で拡張ボードを外した場合は、もとどおりに装着します。

 p.40 「拡張ボードの取り付け・取り外し」

9 本体カバーを取り付けます。

 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」

10 コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類をもとどおりに接続します。

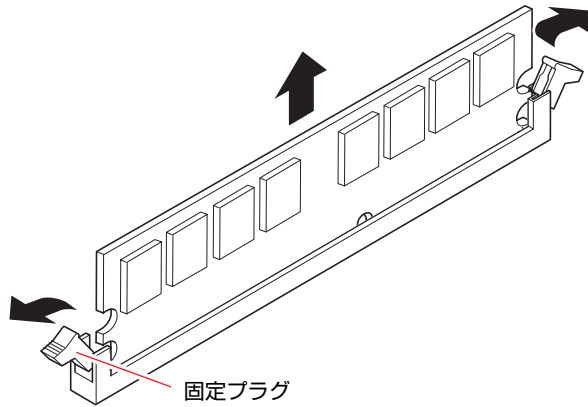
続けてp.39 「メモリの増設・交換後の作業」を行います。

取り外し

メモリの取り外しは、p.35「取り付け」の手順5～7を次の手順に読み替えて行ってください。

作業後は、p.39「メモリの増設・交換後の作業」を行います。

- 1** メモリの両端を固定している固定プラグを開きます。




- 2** メモリが外れたら静かに取り外します。
静電気防止袋に入れて保管してください。
- 3** 固定プラグは閉じておきます。

▶メモリの増設・交換後の作業

メモリの増設・交換をした場合は、必ずメモリの容量を確認します。
メモリ容量の確認方法は次のとおりです。

- 1 コンピュータの電源を入れたら、**[Delete]**を押して「BIOS Setupユーティリティ」を実行します。

 p.66 「BIOS Setupユーティリティの操作」

- 2 「Main」メニュー画面－「System Information」－「Installed Memory」に表示されているメモリ容量を確認します。

メモリ容量が正しく表示されない場合は、メモリが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、正しく取り付け直してください。



メモリ容量の表示

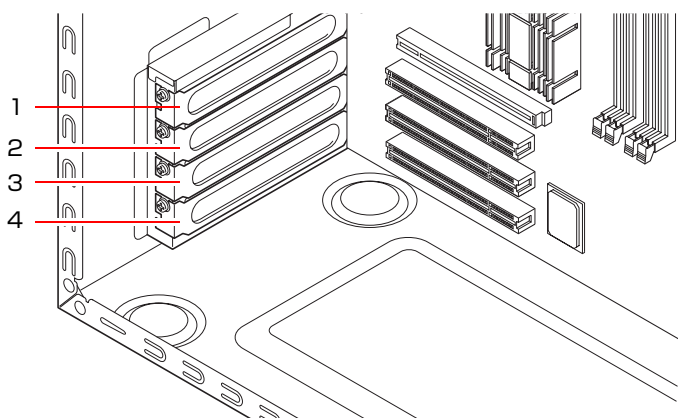
本機では、メインメモリの一部をビデオメモリとして使用します。そのため、メモリ容量は、メインメモリからビデオメモリ（最小8MB）を引いた値が表示されます。

拡張ボードの装着

拡張スロットの仕様と拡張ボードの取り付け方法について説明します。

▶ 拡張スロットの仕様

本機には4つの拡張スロットがあります。各スロットの仕様は次のとおりです。



スロット番号	コネクタ仕様	装着可能な拡張ボードサイズ
1	PCI Express x16	ボード長230mmまで
2	PCI	ボード長190mmまで
3	PCI	ボード長200mmまで
4	PCI	ボード長200mmまで

▶ 拡張ボードの取り付け・取り外し



拡張スロットには機器の性能を維持するため鋭いエッジがあります。手を傷つけないように作業してください。


作業を始める前にp.27 「作業時の注意」と「拡張ボードに添付のマニュアル」を必ずお読みください。

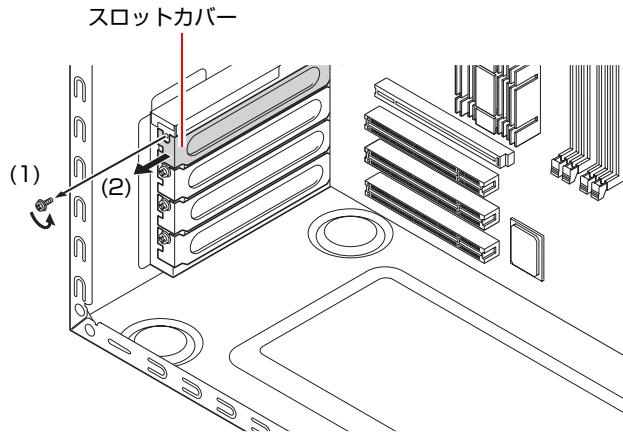
作業を行う場合は、必要に応じて本体を横置きにしてもかまいません。

取り付け

拡張ボードの取り付け方法は、次のとおりです。

- 1 コンピュータの電源が入っている場合は、コンピュータの電源を切ります。コンピュータ内部が冷えるまで10分以上放置してください。

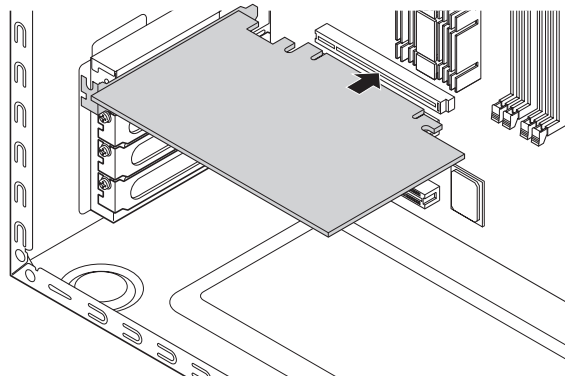
- 2 コンピュータに接続しているケーブル類（電源ケーブル等）をすべて外します。
- 3 本体カバー（左側）を外します。
 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 4 拡張カードを装着するスロットのスロットカバーを外します。
 - (1) スロットカバーを固定しているネジを外します。
 - (2) スロットカバーを手前に引き抜きます。



外したスロットカバーは、大切に保管してください。拡張ボードを外したあと、別の拡張ボードを装着しない場合は、本体内部にほこりなどが入らないように、再びスロットカバーを装着します。

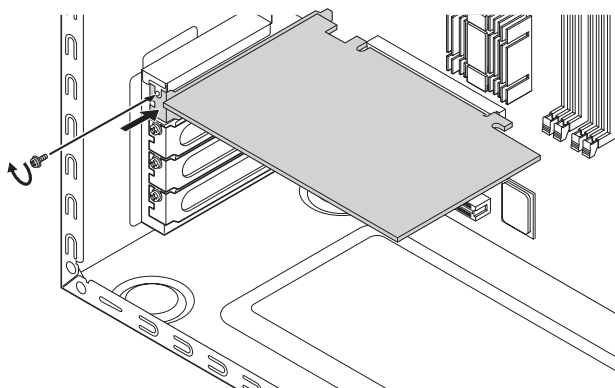
- 5 拡張ボードがコネクタ形状に合っていることを確認し、拡張ボードを差し込みます。

拡張ボードの端子部を、コネクタに軽く触れる程度に差し込みます。コネクタに無理な力がかかっていないことを確認してゆっくり押し込みます。




6 拡張ボードをネジで固定します。

サウンドボードなど、拡張ボードによっては、コンピュータ内部のコネクタとのケーブル接続が必要な場合があります。拡張ボードに添付のマニュアルで確認してください。



7 本体カバーを取り付けます。

 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」

8 コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類をもとどおりに接続します。

続けてp.43 「拡張ボードの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

取り外し

拡張ボードの取り外しは、p.40 「取り付け」の手順4～6を次の手順に読み替えて行ってください。

作業後は、p.43 「拡張ボードの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

1 拡張ボードを固定しているネジを外します。

2 拡張ボードを引き抜きます。

3 拡張ボードを取り外したスロットに別の拡張ボードを装着しないときは、スロットカバーを取り付けておきます。

▶ 拡張ボードの取り付け・取り外し後の作業

拡張ボードの取り付け・取り外しをした場合は、次の作業を行ってください。

● ビデオボードの場合

ビデオボードの取り付け・取り外しをした場合、BIOSなどの設定は必要ありませんが、ボードによってはドライバのインストール、アンインストールが必要です。詳しくはボードに添付のマニュアルをご覧ください。

● サウンドボードの場合

サウンドボードの取り付け・取り外しを行った場合は、BIOSの設定を変更する必要があります。BIOSの次の項目の設定を変更してください。

「BIOS Setupユーティリティ」の「Advanced」メニュー画面－「Interated Peripherals」－「Onboard Audio」



p.66 「BIOS Setupユーティリティの操作」

ボード	メインボード上のサウンド機能
取り付けた場合	Didabled（無効）
取り外した場合	Enabled（有効）

ボードによってはドライバのインストール、アンインストールが必要です。詳しくはボードに添付のマニュアルをご覧ください。

● ネットワークボードの場合（無線LANボードを除く）

ネットワークボードの取り付け・取り外しを行った場合は、BIOSの設定を変更する必要があります。BIOSの次の項目の設定を変更してください。

「BIOS Setupユーティリティ」の「Advanced」メニュー画面－「Interated Peripherals」－「Onboard LAN」



p.66 「BIOS Setupユーティリティの操作」

ボード	メインボード上のネットワーク機能
取り付けた場合	Didabled（無効）
取り外した場合	Enabled（有効）

ボードによってはドライバのインストール、アンインストールが必要です。詳しくはボードに添付のマニュアルをご覧ください。

● そのほかのボードの場合

拡張ボードによっては作業が必要な場合があります。詳しくはボードに添付のマニュアルをご覧ください。

3.5型ドライブベイへの装着

▶3.5型ドライブの取り付け・取り外し

作業を始める前にp.27「作業時の注意」と、「機器に添付のマニュアル」を必ずお読みください。

作業を行う場合は、必要に応じて本体を横置きにしてもかまいません。





作業を行った後は、「3.5型ドライブの取り付け・取り外し後の作業」を行ってください。

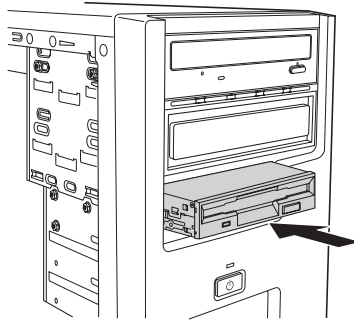
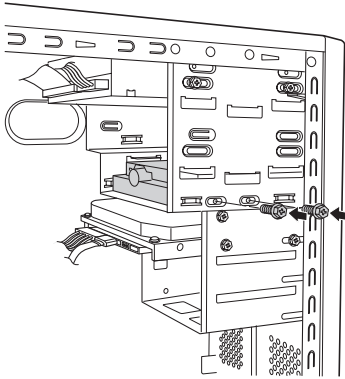


3.5型のMOドライブを増設する場合は、5.25型マウントフレームに取り付け、5.25型ドライブベイに装着します。

取り付け


3.5型ドライブの取り付け手順は次のとおりです。ここでは、3.5型のFDDを取り付ける手順を説明します。

- 1** 装着する装置に添付のマニュアルを参照して、装置に対して必要な作業（ジャンプスイッチやディップスイッチの設定など）を行います。
- 2** コンピュータの電源が入っている場合は、コンピュータの電源を切ります。コンピュータ内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 3** コンピュータに接続しているケーブル類（電源ケーブル等）をすべて外します。
- 4** 本体カバー（左側）を取り外します。
 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 5** 3.5型フェイスプレートを取り外します。
すでに装着されている装置を交換する場合は、この作業は必要ありません。
 - (1)** フロントパネルを取り外します。
 p.31 「フロントパネルの取り外し・取り付け」
 - (2)** フェイスプレートを取り外します。
 p.32 「3.5型フェイスプレートの取り外し」
 - (3)** フロントパネルを取り付けます。
 p.31 「フロントパネルの取り外し・取り付け」


6 装置を3.5型ドライブベイに押し込みます。**7** 装着する装置のネジ穴をドライブキャリアのネジ穴にあわせて側面からネジ（2本）で固定します。

3.5型ドライブベイに取り付けた装置が、しっかりとネジで固定されていることを確認します。

8 FDDケーブルと周辺機器用電源ケーブルをドライブ装置に接続します。

 p.61 「3.5型FDDの接続例」またはドライブ装置に添付のマニュアル

9 本体カバーを取り付けます。




 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」

10 コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類をもとどおりに接続します。

続けてp.47 「3.5型ドライブの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

取り外し

3.5型ドライブの取り外し方法は次のとおりです。

- 1** コンピュータの電源が入っている場合は、コンピュータの電源を切ります。
コンピュータ内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピュータに接続しているケーブル類（電源ケーブル等）をすべて外します。
- 3** 本体カバー（左側）を取り外します。
 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 4** 取り外すドライブ装置に接続しているケーブル類を外します。
- 5** ドライブ装置を固定しているネジ（2本）を外し、ドライブ装置を本体前面側から引き抜きます。
- 6** 必要に応じてフェイスプレートを取り付けます。
 p.32 「3.5型フェイスプレートの取り付け」
ほかの装置を取り付ける場合は、この作業は必要ありません。
- 7** 本体カバーを取り付けます。
 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 8** コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類をもとどおりに接続します。

続けてp.47 「3.5型ドライブの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

▶3.5型ドライブの取り付け・取り外し後の作業

3.5型ドライブ（FDDやマルチカードリーダーなど）の取り付け・取り外しを行った場合は、次の作業を行ってください。

- FDDの場合

FDDの取り付け・取り外しを行った場合は、BIOSの設定を変更する必要があります。BIOSの次の項目の設定を変更してください。

「BIOS Setupユーティリティ」の「Main」メニュー画面－「Legacy Diskette A」



p.66 「BIOS Setupユーティリティの操作」

状 態	設 定
取り付けた場合	1.44M,3.5in
取り外した場合	Disabled

- そのほかの3.5型ドライブの場合

上記以外の3.5型ドライブの取り付け・取り外しを行った場合は、3.5型ドライブに添付のマニュアルをご覧ください、必要な作業を行ってください。

5.25型ドライブベイへの装着

▶5.25型ドライブの取り付け・取り外し





作業を始める前にp.27「作業時の注意」と、「機器に添付のマニュアル」を必ずお読みください。

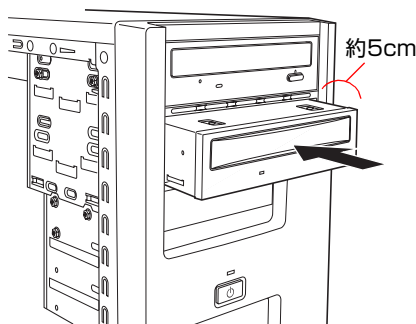
作業を行う場合は、必要に応じて本体を横置きにしてもかまいません。

作業を行った後は、「5.25型ドライブの取り付け・取り外し後の作業」を行ってください。


取り付け

ここでは2台目のCD/DVDドライブを増設する手順を説明します。

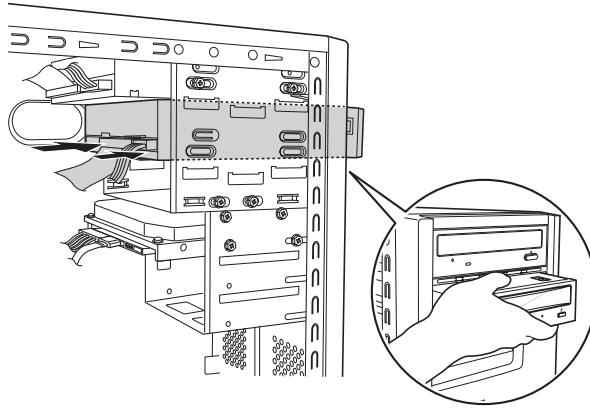
- 1** あらかじめ装着する装置に添付のマニュアルを参照して、必要に応じてジャンプスイッチの設定などを行います。
 p.56 「IDE装置の装着」
- 2** コンピュータの電源が入っている場合は、コンピュータの電源を切ります。コンピュータ内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 3** コンピュータに接続しているケーブル類（電源ケーブル等）をすべて外します。
- 4** フロントパネルを取り外します。
 p.31 「フロントパネルの取り外し・取り付け」
- 5** 5.25型フェイスプレートを取り外します。
 p.33 「5.25型フェイスプレートの取り付け」
- 6** フロントパネルを取り付けます。
 p.31 「フロントパネルの取り外し・取り付け」
- 7** ドライブベイにドライブ装置を取り付けます。
(1) ドライブ装置を前面から押しこみます。
このとき、ドライブを前面側に5cm程出しておきます。



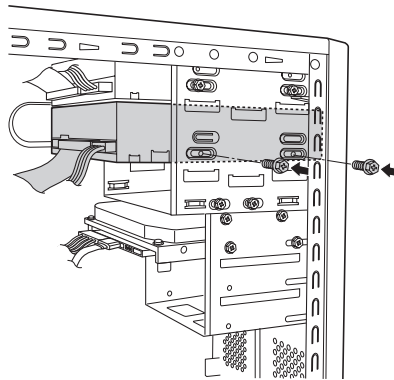
- (2) 右手でドライブ装置を固定して、装置にUltra ATAケーブルと周辺機器用電源ケーブルを接続します。

 p.59 「ドライブ装置の接続例」


すでに装着されているドライブ装置が作業の妨げになる場合は、そのドライブ装置のネジ（2本）を外し、前面側に移動させて空間を作ります。



- (3) ドライブ装置を押し込み、ネジ穴を合わせてネジ（2本）で固定します。
手順7-(2)で、すでに装着されているドライブ装置を前面側に移動させた場合は、元の位置に戻し、ネジ（2本）で固定します。



- 8** 本体カバーを取り付けます。


 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」

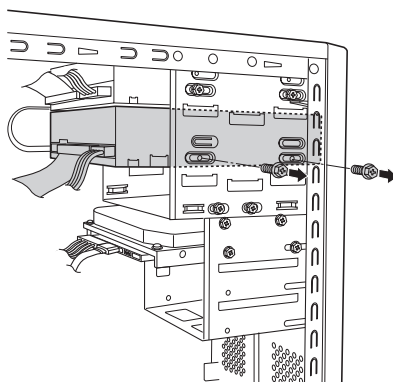
- 9** コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類をもとどおりに接続します。

続けてp.51 「5.25型ドライブの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

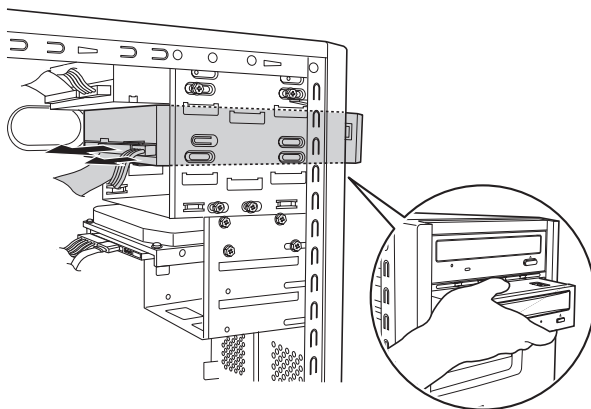
取り外し

ここでは2台目のCD/DVDドライブを取り外す手順を説明します。

- 1** コンピュータの電源が入っている場合は、コンピュータの電源を切ります。
コンピュータ内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピュータに接続しているケーブル類（電源ケーブル等）をすべて外します。
- 3** 本体カバー（左側）を取り外します。
 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 4** ドライブベイからドライブ装置を取り外します。
 - (1) ドライブ装置を固定しているネジ（2本）を外します。

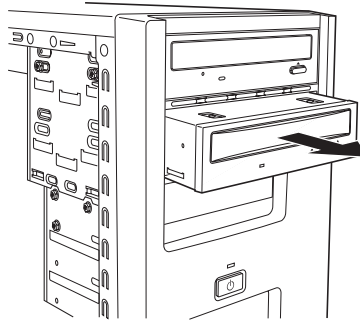


- (2) ドライブ装置を前面側に5cm程移動させます。
- (3) 右手でドライブ装置を固定し、ケーブル類を外します。
1台目のドライブ装置が作業の妨げになる場合は、1台目のドライブ装置を固定しているネジ（2本）を外して、前面に移動させ空間を作ります。




(4) ドライブ装置を前面側から引き抜きます。

手順4-(3)で、すでに装着されているドライブ装置を前面側に移動させた場合は、元の位置に戻し、ネジ（2本）で固定します。


**5 5.25型フェイスプレートを取り付けます。**

装置を取り外したドライブベイにほかの装置を取り付ける場合は、この作業は必要ありません。

(1) フロントパネルを取り外します。

 p.31 「フロントパネルの取り外し・取り付け」


(2) フロントパネルに5.25型フェイスプレートを取り付けます。

 p.33 「5.25型フェイスプレートの取り付け」

(3) フロントパネルを取り付けます。

 p.31 「フロントパネルの取り外し・取り付け」

6 本体カバーを取り付けます。

 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」

7 コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類をもとどおりに接続します。

続けてp.51 「5.25型ドライブの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

▶5.25型ドライブの取り付け・取り外し後の作業

5.25型ドライブの取り付け・取り外しをした場合は、次の作業を行ってください。

- CD/DVDドライブを取り付けた場合

CD/DVDドライブによっては、ライティングソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは、CD/DVDドライブに添付のマニュアルをご覧ください。

このほか、5.25型ドライブによっては作業が必要な場合があります。詳しくは、ドライブに添付のマニュアルをご覧ください。

HDDベイへの装着

▶HDDの取り付け・取り外し

作業を始める前にp.27「作業時の注意」と、「機器に添付のマニュアル」を必ずお読みください。

作業を行う場合は、必要に応じて本体を横置きにしてもかまいません。


作業を行った後は、「HDDの取り付け・取り外し後の作業」を行ってください。

本機には、S-ATA仕様のHDDを合計3台まで装着することができます。




制限

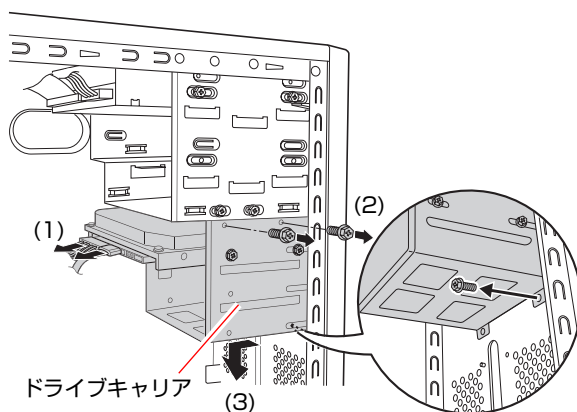
- 本機では、Ultra ATA仕様のHDDは使用できません。
- HDDへのアクセス制限を設定している場合は、アクセス制限を解除した状態でHDDの増設を行ってください。

 p.78 「Bootメニュー画面」－「Security」－「Hard Disk Protection」

取り付け

ここでは、2台目のHDDを増設する手順を説明します。

- 1** コンピュータの電源が入っている場合は、コンピュータの電源を切ります。
コンピュータ内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピュータに接続しているケーブル類（電源ケーブル等）をすべて外します。
- 3** 本体カバー（左側）を取り外します。
 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 4** ドライブキャリアを本体から取り外します。
 - (1) 接続されている1台目のHDDのケーブル類を外します。
 - (2) コンピュータ本体とドライブキャリアを固定しているネジ(3本)を外します。
 - (3) ドライブキャリアを矢印のとおりにずらして取り外します。

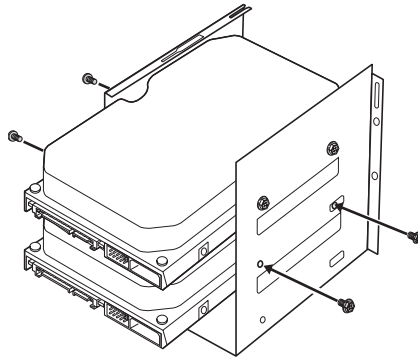


5 ドライブキャリアにHDDを取り付けます。

- (1) 取り付けるHDDを、装着されているHDDと同じ向きに合わせ、ドライブキャリアに差し込みます。

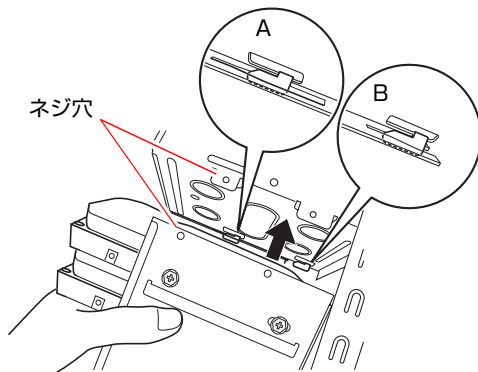
ドライブキャリアにHDDがうまく挿入できない場合はすでに装着されているHDDの片側のネジをゆるめてください。

- (2) ドライブキャリアとHDDのネジ穴を合わせて、ネジ（4本）で固定します。すでに装着されているHDDのネジをゆるめた場合は忘れずにネジを締めてください。



6 ドライブキャリアを本体に取り付けます。


- (1) 奥はドライブキャリア側の切込みを本体側のツメA、Bに合わせ、手前はドライブキャリアのネジ穴部分を本体のネジ穴部分にかぶせます。

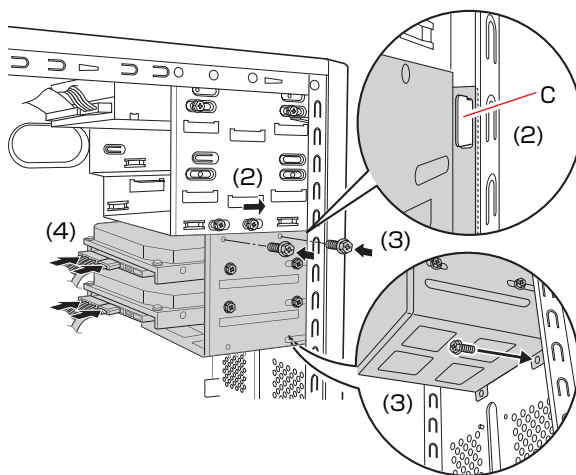


- (2) ドライブキャリアを本体前面側にスライドさせ、ドライブキャリアの穴を本体側のツメCに差し込みます。


- (3) ドライブキャリアと本体のネジ穴を合わせてネジ（3本）で固定します。

- (4) HDDにS-ATAケーブルと周辺機器用電源ケーブルを接続します。

 p.59 「ドライブ装置の接続例」



7 本体カバーを取り付けます。

 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」

8 コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類をもとどおりに接続します。

続けてp.55 「HDDの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

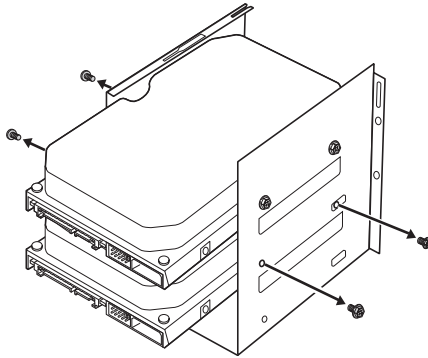
取り外し

ドライブキャリアの取り外し方・取り付け方については、前項「HDDベイへの装着」の手順を参照してください。

作業後は、p.55 「HDDの取り付け・取り外し後の作業」を行ってください。

ドライブキャリアからHDDを取り外します。

ドライブキャリアとHDDを固定しているネジ（4本）を外し、ドライブキャリアからHDDを外します。



▶HDDの取り付け・取り外し後の作業

HDDの取り付け・取り外しをした場合は、次の作業を行ってください。

- HDDを取り付けた場合

未使用のHDDを取り付けた場合は、領域作成とフォーマットが必要です。

- HDDを取り外した場合

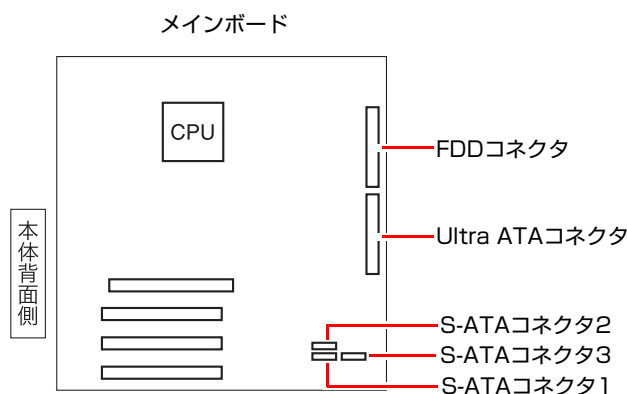
HDDを取り外し、ほかのHDDを取り付けない場合は、S-ATAケーブルをメインボードから取り外し、大切に保管してください。

IDE装置の装着

ここでは、IDEコネクタの仕様とドライブ装置の接続方法について説明します。本機のメインボード上で使用できるIDEコネクタは次のとおりです。各コネクタには、それぞれの規格に対応したドライブ装置を接続することができます。

- FDDコネクタ 1個（FDDなど）
- Ultra ATAコネクタ 1個（CD/DVDドライブなどを2台接続可能）
- S-ATAコネクタ 3個（HDD）

各コネクタの位置は次のとおりです。



▶Ultra ATAコネクタ

本機のUltra ATAコネクタには、CD/DVDドライブやMOドライブなどUltra ATA仕様のドライブ装置を2台接続することができます。

優先順位の設定

Ultra ATAコネクタに接続する2台の装置には優先順位（マスタ・スレイブ）を設定します。順位の設定を誤ると、装置がコンピュータに認識されない場合があります。

優先順位は次のように設定してください。

メインボード側	装置	順位	購入時の装置	増設例
Ultra ATAコネクタ	マスタ	1	CD/DVDドライブ	
	スレイブ	2		CD/DVDドライブ、MOドライブなど



制限

CD/DVDドライブを2台接続する場合、マスタはCD-ROMドライブとし、書き込み機能のあるドライブは、スレイブに設定してください。

マスタ・スレイブの設定方法

マスタ・スレイブの設定方法には、次の2つがあります。

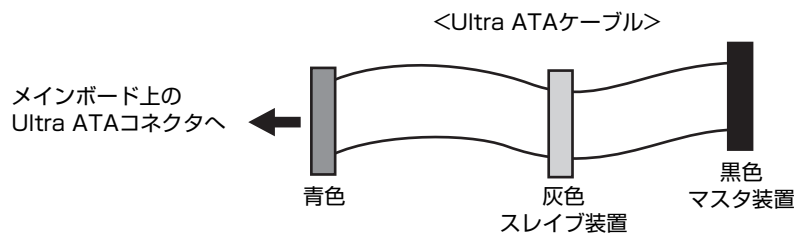
- 装置側のジャンプスイッチで、それぞれ「マスタ」「スレイブ」を設定する。
この場合、Ultra ATAケーブル側での設定は不要です。
- 装置側のジャンプスイッチで「ケーブルセレクト」を設定し、接続するUltra ATAケーブル側で「マスタ」、「スレイブ」を決定する。

ジャンプスイッチの位置や設定方法は、ドライブ装置のマニュアルを参照してください。

Ultra ATAケーブル

本機のUltra ATAコネクタに接続しているIDEケーブルは、「Ultra ATAケーブル」です。

「Ultra ATAケーブル」は、次のように接続します。



▶S-ATAコネクタ

S-ATAは、Ultra ATAに比べて、高速でデータ転送を行うことができます。それぞれのS-ATAコネクタには、S-ATA HDDを1台ずつ接続できます。コネクタの優先順位は、次のとおりです。

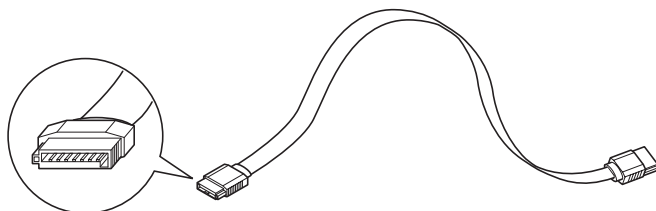
順位	コネクタ
1	S-ATAコネクタ1
2	S-ATAコネクタ2
3	S-ATAコネクタ3



Windows は、S-ATA コネクタ 1 に接続された HDD にインストールしてください。

S-ATAケーブル

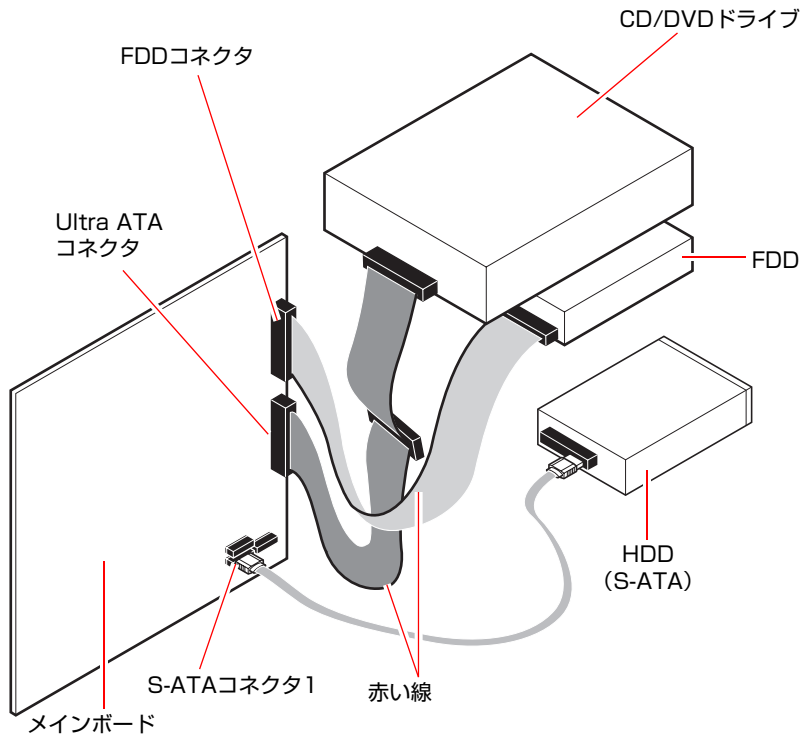
S-ATA HDDとメインボード上のS-ATAコネクタは、「S-ATAケーブル」で接続します。「S-ATAケーブル」は、コネクタの向きに合わせて接続してください。「S-ATAケーブル」の両端のコネクタの形状は同じです。



▶ ドライブ装置の接続例

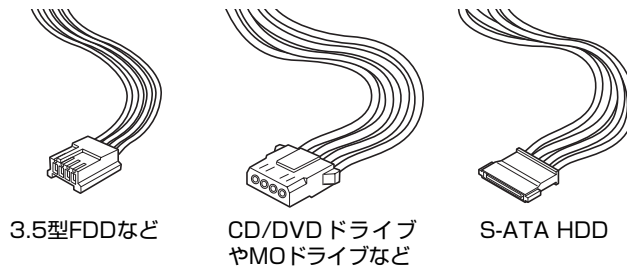
メインボードとの接続

ドライブ装置とメインボードを接続する一般的な方法は、次のとおりです。ドライブ装置を増設または交換する際には、ドライブ装置に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。



周辺機器用電源ケーブル

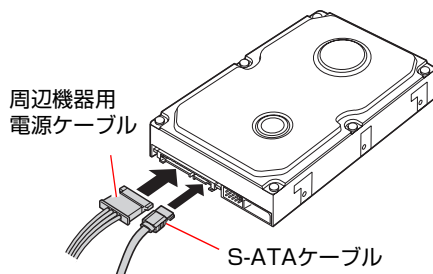
電源ユニットには、ドライブベイに装着する装置に電源を供給するための周辺機器用電源ケーブルがついています。周辺機器用電源ケーブルの各コネクタの形状と、接続するドライブ装置は次のとおりです。



S-ATA HDDの接続例

S-ATA HDDの接続方法は次のとおりです。

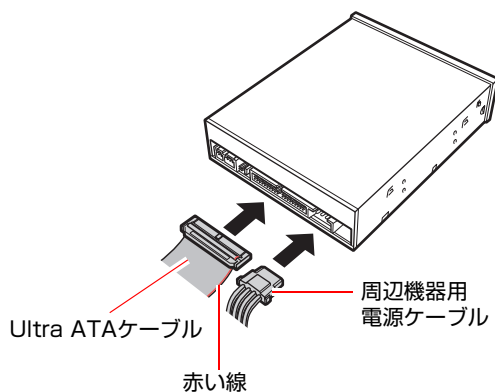
- 1 S-ATAケーブルを接続します。**
S-ATAケーブルをS-ATA HDDのインタフェースコネクタに接続します。
- 2 周辺機器用電源ケーブルを、電源コネクタに接続します。**



CD/DVDドライブの接続例

CD/DVDドライブの接続方法は次のとおりです。

- 1 Ultra ATAケーブルを接続します。**
Ultra ATAケーブルを、ドライブ装置のインタフェースコネクタに接続します。

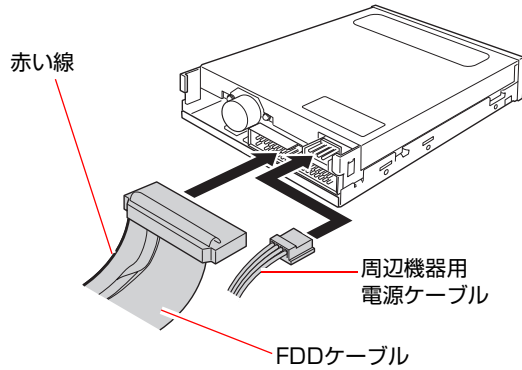


- 2 周辺機器用電源ケーブルを、電源コネクタに接続します。**

3.5型FDDの接続例

3.5型FDDの接続方法は次のとおりです。

- 1** FDDケーブルをFDDのインタフェースコネクタに接続します。
- 2** 周辺機器用電源ケーブルを電源コネクタに接続します。
電源コネクタの位置は機種によって異なります。



BIOSの設定

コンピュータの基本状態を管理しているプログラム「BIOS」の設定を変更する方法について説明します。

BIOSの設定を始める前に

BIOSは、コンピュータの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、メインボード上にROMとして搭載されています。

BIOSの設定は「BIOS Setupユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。BIOSの設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- メインボード上の機能を有効/無効にする場合


BIOSの設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。BIOS Setupユーティリティで変更した内容はCMOS RAMと呼ばれる特別なメモリ領域に保存されます。このメモリはリチウム電池によってバックアップされているため、コンピュータの電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。



参考



リチウム電池の寿命

BIOS Setupユーティリティの内容は、リチウム電池で保持しています。使用状況により異なりますが、本機のリチウム電池の寿命は約3年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうなどの現象が頻発するような場合にはリチウム電池の寿命が考えられます。リチウム電池を交換してください。

 p.85 「リチウム電池の交換」



制限

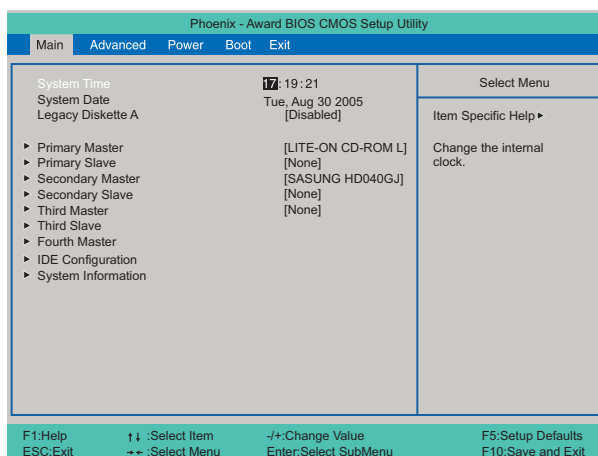
- 設定値を変更して、動作が不安定になったり、リチウム電池の寿命で内容を保持できなくなった場合に備えて、必ず購入時の設定と変更後の設定値を記録しておいてください。
 p.80 「BIOSの設定値」
- 設定を変更後に、万一動作が不安定になった場合は、「Load Optimized Defaults」(初期値に戻す)で、もとの値に戻すことができます。
 p.69 「設定値をもとに戻すには」
- 弊社製以外のBIOSを使用すると、Windowsが正常に動作しなくなる場合があります。弊社製以外のBIOSへのアップグレードは絶対に行わないでください。

BIOS Setupユーティリティの操作

▶ BIOS Setupユーティリティの起動

本機の電源を入れる前に、キーボードの **[Delete]** の位置を確認してください。
手順2ではすばやく **[Delete]** を押す必要があります。

- 1 本機の電源を入れます。**
すでに起動している場合は再起動します。
- 2 起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐにキーボードの **[Delete]** を押します。**
Windowsが起動してしまった場合は、Windowsを再起動し、再度 **[Delete]** を押してください。
- 3 「BIOS Setupユーティリティ」が起動してMainメニュー画面が表示されます。**




BIOS Setupユーティリティ画面 (イメージ)

仕様が前回と異なるとき

コンピュータの状態が、前回使用していたときと異なる場合は、コンピュータの電源を入れると、次のメッセージが表示されることがあります。

Press F1 to continue, DEL to enter SETUP

このメッセージが表示されたら **[Delete]** を押して「BIOS Setupユーティリティ」を起動します。通常は、そのまま「Save & Exit Setup」を実行して「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。

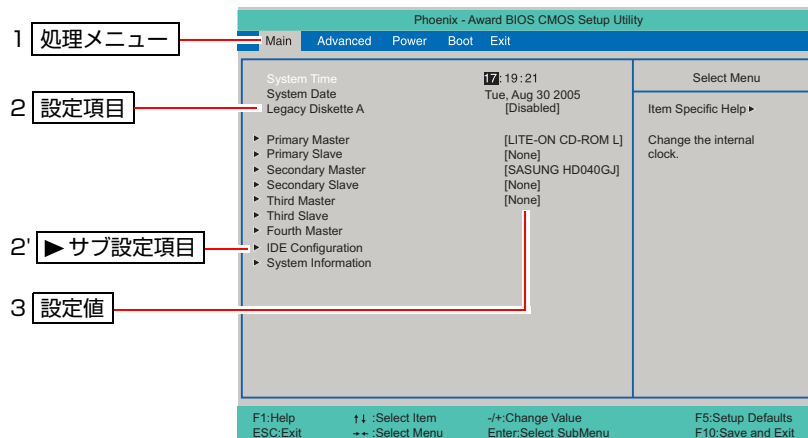
 p.72 「BIOS Setupユーティリティの終了」

▶BIOS Setupユーティリティの操作

「BIOS Setupユーティリティ」の操作は、キーボードで行います。

画面の構成

BIOSセットアップユーティリティを起動すると次の画面が表示されます。この画面で設定値を変更することができます。



<メニュー画面>

各メニュー画面と設定項目の説明は、p.73 「BIOS Setupユーティリティの設定項目」をご覧ください。

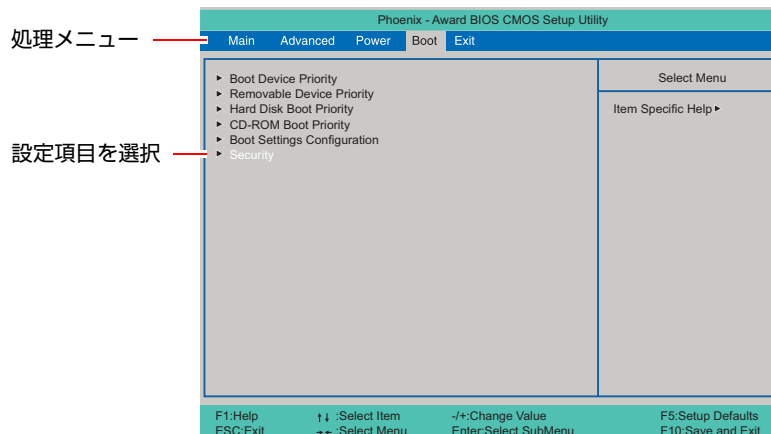
設定値の変更方法

「BIOS Setupユーティリティ」の設定値を変更する方法は次のとおりです。

- 1 処理メニューで設定を変更したい項目のあるメニュー画面に移動し、設定項目を選択します。

→ ← でメニュー間を移動します。

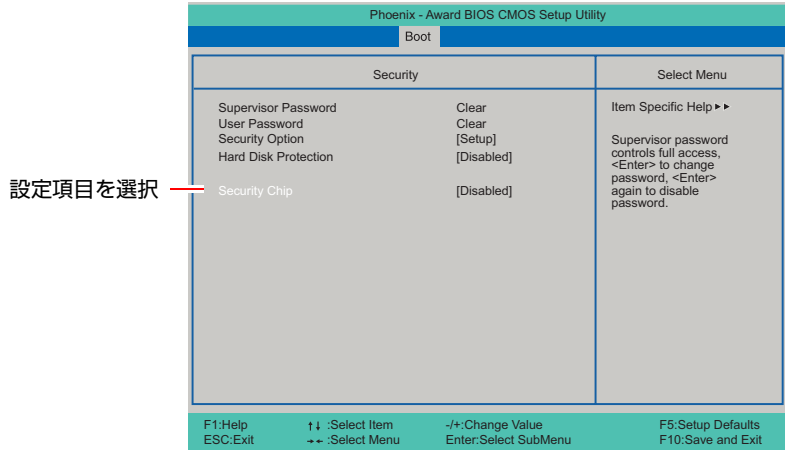
↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。



<▶のある項目の場合>

▶のある項目の場合、**[←]**を押すとサブメニュー画面が表示されます。

[↑] **[↓]**で設定値を変更したい項目まで移動します。

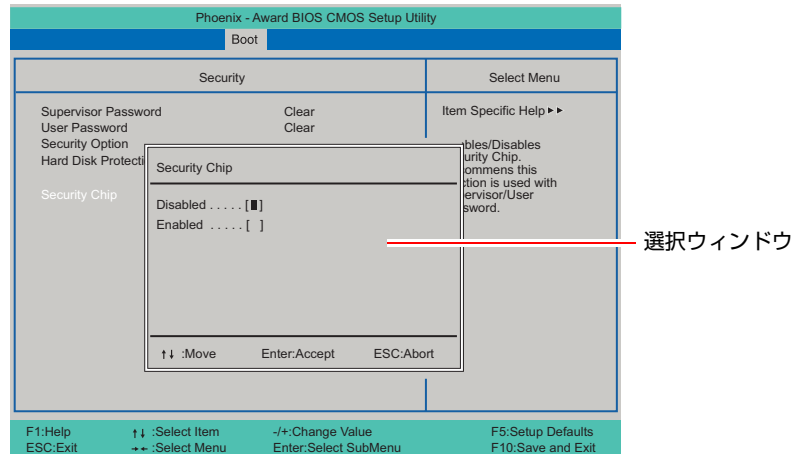


<サブメニュー画面>












サブメニュー画面から戻るには **[Esc]** を押します。

2 設定値を変更します。

[←]を押して選択ウィンドウを表示し、**[↑]** **[↓]**で値を選択し、**[←]**で決定します。



キー操作

キー	操作できる内容
	ヘルプを表示します。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 変更した内容を破棄し、終了するかどうかを確認するメッセージを表示します。 ● 「サブメニュー画面」から「メニュー画面」に戻ります。
 , 	設定を変更する項目を選択します。
 , 	処理メニューを選択します。
 , 	項目の値を変更します。
	<ul style="list-style-type: none"> ● メニュー画面中の▶マークの付いている項目で押すとサブメニュー画面を表示します。 ● 選択項目の選択ウィンドウを表示します。 ● 設定値を選択します。
	全設定項目の値を、初期値に変更できます。
	変更した設定値を保存して終了します。

▶設定値をもとに戻すには

「BIOS Setupユーティリティ」の設定を間違えてしまい、ワーコンピユータの動作が不安定になってしまった場合などには、「BIOS Setupユーティリティ」の設定を前回保存した値や初期値に戻すことができます。

Load Optimized Defaults（初期値に戻す）

「BIOS Setupユーティリティ」の設定を、BIOSの初期値に変更する手順は次のとおりです。

- 1 「BIOSセットアップユーティリティ」起動中に **[F5]** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Load Optimized Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Load Setup Defaults (Y/N) ?
[YES] [NO]

- 2 [YES] を選択して **[↵]** を押します。

次のような場合は、Load Optimized Defaultsを実行したあとに、BIOSの設定値を設定しなおしてください。

- サウンドボードをお使いの場合
メインボード上のサウンド機能を無効にするため、「Advanced」メニュー画面－「Integrated Peripherals」－「Onboard Audio」を「Disabled」に設定します。
- ネットワークボードをお使いの場合（無線LANボードの場合は不要です）
メインボード上のネットワーク機能を無効にするため、「Advanced」メニュー画面－「Integrated Peripherals」－「Onboard LAN」を「Disabled」に設定します。
- 内蔵FDDをお使いの場合
「Main」メニュー画面－「Legacy Diskette A」を「1.44M, 3.5in.」に設定します。

設定を行ったら、変更した内容を保存して終了します。

 p.72 「Save & Exit Setup（変更した内容を保存し終了する）」

Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)

「BIOS Setupユーティリティ」を終了することなく、変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。

- 1 「Exit」メニュー画面－「Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Load Previous Values (Y/N) ?	
[YES]	[NO]

- 2 [YES] を選択して  を押します。

▶ Passwordの設定


本機のBIOSでパスワードを設定すると、BIOSやシステム、HDDへのアクセス時にパスワードが要求され、アクセスするユーザーを制限することができます。パスワードの設定は、「Bootメニュー画面」－「Security」で行います。

パスワードの種類

パスワードには次の2種類があります。

- Supervisor Password
コンピュータの管理者用のパスワードです。このパスワードでBIOSにログインした場合、BIOSのすべての項目を変更することができます。
- User Password
そのほかのユーザー用のパスワードです。このパスワードでBIOSにログインした場合は、BIOSで変更できる項目が制限されます。

パスワードを設定すると、HDDへのアクセス制限も設定できるようになります。


 p.78 「Bootメニュー画面」－「Security」－「Hard Disk Protection」

BIOSアクセス制限の種類

BIOSアクセス制限には次の2種類があります。


- Setup
BIOSへのアクセスを制限します。BIOS起動時にパスワード入力が必要です。
- System
BIOS、システムへのアクセスを制限します。BIOS起動時とシステム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力が必要です。

BIOSアクセス制限の選択は、次の項目で行います。


 p.78 「Bootメニュー画面」－「Security」－「Security Option」

パスワードの設定・変更


Supervisor Passwordおよび、User Passwordの設定・変更方法は次のとおりです。
User Passwordは、Supervisor Passwordを設定すると、設定できるようになります。

- 1 「Supervisor Password」または、「User Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter Password:

- 2 パスワードを入力し、 を押します。

「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは8文字まで入力可能です。

- 3 続いて次のメッセージが表示されます。確認のためにもう一度同じパスワードを入力し、 を押します。

Confirm Password:

- 4 パスワードの設定が完了すると、「Supervisor Password」または「User Password」項目の値が「Set」に変わります。




制限


登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。
万一、パスワードを忘れた場合は、p.88「CMOS RAMの初期化」を実行します。

パスワードの削除

Supervisor PasswordおよびUser Passwordの削除方法は次のとおりです。
Supervisor Passwordを削除すると、User Passwordも同時に削除されます。

- 1 「Supervisor Password」または「User Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter Password:

- 2 何も入力せずに  を押すと、次のメッセージが表示されます。

PASSWORD DISABLED!!!
Press any key to continue...

- 3 どれかキーを押すと、パスワードが削除され、「Supervisor Password」または「User Password」項目の表示が「Clear」に変わります。

▶ BIOS Setupユーティリティの終了

「BIOS Setupユーティリティ」の終了方法には、次の2つがあります。

Save & Exit Setup（変更した内容を保存し終了する）

変更した設定値を保存して、「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。

- 1 **F10** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Save & Exit Setup」を選択すると次のメッセージが表示されます。

Save configuration changes and exit now? [YES] [NO]
--

- 2 [YES] を選択し、**↵** を押します。

Exit Without Saving（変更した内容を破棄し終了する）

変更した設定値を保存せずに、「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。

- 1 **Esc** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Exit Without Saving」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Quit Without Saving (Y/N) ? [YES] [NO]

- 2 [YES] を選択し、**↵** を押します。

BIOS Setupユーティリティの設定項目

ここでは、「BIOS Setupユーティリティ」で設定できる項目と、設定方法などについて説明します。「BIOS Setupユーティリティ」のメニュー画面には、次の5つのメニューがあります。

- Main メニュー画面 : 日付、時間、HDDなどの設定を行います。
- Advancedメニュー画面 : CPUに関する設定、I/O関係の動作設定やPCIバス関係の設定などを行います。
- Powerメニュー画面 : 省電力機能や起動に関する設定を行います。
- Bootメニュー画面 : システムを起動するドライブの順番の設定やコンピュータの動作状態、セキュリティの設定などを行います。
- Exitメニュー画面 : BIOS Setupユーティリティを終了したり、BIOSの設定値を初期値に戻します。

▶Mainメニュー画面

Mainメニュー画面の設定項目は、次のとおりです。

____は初期値

*は項目表示のみ

System Time (hh:mm:ss)		時刻を設定します。
System Date (mm:dd:yy)		日付を設定します。
Legacy Diskette A		接続しているFDDのタイプを選択します。 <u>Disabled</u> : FDD未接続の場合 1.44M, 3.5in. : 3.5型1.44MB対応FDD搭載の場合
IDE装置の仕様を設定します。 ※表示される詳細項目は、選択するドライブにより異なります。	*Device	IDE装置の機器の名称を表示します。
	*Vendor	IDE装置の型番を表示します。
	*Size	HDDの容量を表示します。
	*Ultra DMA	Ultra DMA 対応装置の転送モードとチャンネルを表示します。
	*PIO Mode	IDE装置の転送モードを表示します。
	*SMART Monitoring	S.M.A.R.T (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) をサポートしているかどうかを表示します。
	LBA Mode	LBA (Logical Block Addressing) Modeの設定をします。 初期値 [Auto] のまま使用します。
	SMART Monitoring	初期値 [Disabled] のまま使用します。
IDE Configuration	Onboard IDE Controller	初期値 [Enabled] のまま使用します。
	*** On-Chip Serial ATA Setting ***	S-ATAの設定をします。
	On-Chip Serial ATA	初期値 [Enhanced Mode] のまま使用します。
	*PATA IDE Mode	PATA IDE Modeの設定を表示します。
System Information	*BIOS Version	BIOSの情報を表示します。
	*Installed Memory	本機に搭載されているメモリ容量の情報を表示します。

▶ Advancedメニュー画面

Advancedメニュー画面の設定項目は、次のとおりです。

____は初期値

*は項目表示のみ

CPU Configuration 本機に搭載されているCPUに関する情報を表示します。	*Manufacturer	メーカーを表示します。
	*Brand String	型番を表示します。
	*Frequency	周波数を表示します。
	*FSB Speed	バススピードを表示します。
	*Cache L1	CPUのL1キャッシュ容量を表示します。
	*Cache L2	CPUのL2キャッシュ容量を表示します。
	*Cache L3	CPUのL3キャッシュ容量を表示します。
	*Ratio Status	CPUクロックの設定を表示します。
	*Ratio Actual Value	ベースクロックに対する倍率を表示します。
	Hyper-Threading Technology	ハイパー・スレッディング機能の有効/無効を設定します。 ハイパー・スレッディング機能を持つプロセッサを搭載しているモデルに表示されます。 Disabled：無効にします。 <u>Enabled</u> ：有効にします。

Integrated Peripherals メインボード上のデバイスに関する設定をします。	Onboard Audio	メインボード上のサウンド機能を使用するかを設定します。 <u>Enabled</u> : 使用します。 Disabled : 使用しません。
	Onboard 1394 Controller	メインボード上のIEEE1394機能を使用するかどうかを設定します。 <u>Enabled</u> : 使用します。 Disabled : 使用しません。
	Onboard LAN	メインボード上のネットワーク機能を使用するかを設定します。 <u>Enabled</u> : 使用します。 Disabled : 使用しません。
	Onboard LAN Boot ROM	「Onboard LAN」で「Enabled」を選択すると表示されます。リモートブート機能の有効/無効を設定します。 <u>Disabled</u> : リモートブート機能を無効にします。 Enabled : リモートブート機能を有効にします。
	Onboard Serial Port	シリアルポートのアドレスとIRQ信号を設定します。 Disabled : シリアルポートを使用しません。 3F8/IRQ4, 2F8/IRQ3, 3E8/IRQ4, 2E8/IRQ3, Auto
	Onboard Parallel Port	パラレルポートが使用するアドレスを設定します。 Disabled : パラレルポートを使用しません。 378/IRQ7, 278/IRQ5, 3BC/IRQ7
	Parallel Port Mode	パラレルポートの動作モードを設定します。接続する周辺装置で指示がある場合のみ変更します。 <u>Standard</u> : 標準の設定です。 SPP : SPPモードに設定します。 EPP 1.7 : EPP 1.7モードに設定します。 EPP 1.9 : EPP 1.9モードに設定します。 ECP : ECPモードに設定します。 ECP+EPP : ECP+EPPモードに設定します。
PnP/PCI Configurations PCIPnPに関する設定をします。	Plug And Play O/S	OSインストールのための設定です。初期値 [No] のまま使用します。
USB Configuration USBコントローラの設定をします。	USB Controller	初期値 [Enabled] のままで使用します。
	USB2.0 Controller	USBの転送速度を設定します。 <u>Enabled</u> : USB2.0の転送速度で使用します。 Disabled : USB1.1の転送速度で使用します。

▶ Power メニュー画面

Powerメニュー画面の設定項目は、次のとおりです。


____は初期値

*は項目表示のみ

Suspend to RAM		<p>スタンバイモードの設定をします。</p> <p>Enabled : メモリ以外の電源が切れるため、消費電力はほとんどありません。</p> <p>Disabled : 不必要な電源が切れます。電力消費は通常より若干抑えられる程度です。</p>
APM Configuration	Restore on AC Power Loss	<p>電源スイッチを押さずに、電源供給時に起動するかどうかを設定します。</p> <p>分電盤などによる複数のコンピュータの同時起動を行うと、コンピュータの動作に悪影響を及ぼす可能性がありますので、ご注意ください。</p> <p>Off : 電源が供給されても、電源スイッチを押さない限り起動しません。</p> <p>On : 電源オフ時に、電源が供給されると、電源スイッチを押さなくてもコンピュータが起動します。</p> <p>Former-Sts : コンピュータの動作中に、雷などの影響で突然電源が切断された後に電源が再び供給されると、電源スイッチを押さなくてもコンピュータが起動します。</p> <p>コンピュータを正常終了させた状態では、電源が供給されてもコンピュータは起動しません。</p>
	Power On by PCI device	<p>メインボードのネットワークから起動するかどうかを設定します。</p> <p>Disabled : 起動しない</p> <p>Enabled : 起動する</p>
	Power On by PCI-Ex device	<p>PCI Expressのネットワークボードから起動するかどうかを設定します。</p> <p>Disabled : 起動しない</p> <p>Enabled : 起動する</p>
	Power On by Alarm	<p>タイマーで起動するかどうかを設定します。</p> <p>Disabled : 起動しない</p> <p>Enabled : 起動する</p>
	Date (of Month) Alarm	<p>タイマーを起動する日を設定します。</p>
	Time (hh:mm:ss) Alarm	<p>タイマーを起動する時間を設定します。</p>

▶ Bootメニュー画面

パスワードの設定方法については、「Passwordの設定」を参照してください。



 p.70 「Passwordの設定」

Bootメニュー画面の設定項目は、次のとおりです。

___は初期値

*は項目表示のみ

システムを起動するドライブの順番を設定します。	First Boot Device	1番目に起動するドライブを設定します。初期値は「CDROM」(CD/DVDドライブ)です。
	Second Boot Device	2番目に起動するドライブを設定します。初期値は「Removable」(FDD)です。
	Third Boot Device	3番目に起動するドライブを設定します。初期値は「Hard Disk」(HDD)です。
	Fourth Boot Device※	ネットワークから起動する場合は、「Network」を設定して使用します。初期値は「Disabled」になっています。
Hard Disk Boot Priority		HDDの優先順位を設定します。初期値のまま使用します。
CD-ROM Boot Priority		CD/DVDドライブの優先順位を設定します。初期値のまま使用します。
Removable Device Priority		リムーバブルデバイスの優先順位を設定します。
Network Boot Priority		ネットワークの優先順位を設定します。
Boot Settings Configuration	Boot Up NumLock Status	DOS起動時のNum Lockの状態を設定します。 Off : Num Lockオフの状態にします。 <u>On</u> : Num Lockオンの状態にします。
	Full Screen LOGO Show	起動時にロゴを表示するかどうかを設定します。 Disabled : 表示しません。 <u>Enabled</u> : 表示します。

Security セキュリティ機能の設定を行います。	Supervisor Password	Supervisor Password (管理者パスワード) を設定します。  p.70 「Passwordの設定」 Clear : パスワードが設定されていません。 Set : パスワードが設定されています。
	User Password	Supervisor Password (管理者パスワード) を設定すると、設定できるようになります。  p.70 「Passwordの設定」 Clear : パスワードが設定されていません。 Set : パスワードが設定されています。
	Security Option	アクセス制限の種類を選択します。 Setup : BIOS へのアクセスを制限します。BIOS起動時にパスワード入力を要求されるようになります。 System : BIOS、システムへのアクセスを制限します。BIOS起動時とシステム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力を要求されるようになります。 ※「Hard Disk Protection」を「Enabled」に設定した場合は、自動的に「System」に設定されます。
	Hard Disk Protection	HDDへのアクセス制限の設定をします。アクセス制限を行ったHDDは、ほかのコンピュータに接続しても認識されなくなります。 また、BIOS、システムへのアクセスが制限され、BIOS起動時とシステム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力を要求されるようになります。 Disabled : HDDへのアクセスを制限しません。 Enabled : HDDへのアクセスを制限します。 ※Supervisor Password (管理者パスワード) を設定すると、設定が有効になります。
	Security Chip	セキュリティチップ (TPM) の機能を使用するかどうかを設定します。 ※TPMはLinuxでは動作しません。 Disabled : 使用しません。 Enabled : 使用します。
	Clear Security Chip	セキュリティチップ (TPM) に保存されている情報を初期化します。初期化を行うと、それまでに暗号化されたデータを使用することができなくなります。セキュリティチップ (TPM) の初期化は、十分に注意し、お客様の責任において行ってください。 セキュリティチップ (TPM) の情報を初期化する場合は、[Enter] を選択し、「Setup Warning」画面が表示されたら、[YES] を選択します。「Setup Confirmation」画面が表示されたら、[YES] を選択すると、情報が初期化され、コンピュータが再起動します。

▶Exitメニュー画面

「Exit」メニュー画面は、BIOS Setupユーティリティの終了方法などを設定する場合に使用します。Exitメニュー画面の設定項目は、次のとおりです。

Save & Exit Setup	変更した内容（設定値）を保存してから、BIOS Setupユーティリティを終了します。
Exit Without Saving	変更した内容（設定値）を保存せずに、BIOS Setupユーティリティを終了します。
Discard Changes	BIOS Setupユーティリティを終了させずに、変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
Load Optimized Defaults	BIOS Setupユーティリティの設定値を、BIOSの初期設定値に戻します。

▶BIOSの設定値

BIOS Setupユーティリティで設定を変更した場合は、変更内容を下表に記録しておくと便利です。購入時の設定は必ず記録してください。

Main メニュー画面

項目	購入時の設定		変更内容	
Legacy Diskette A	Disabled	1.44M, 3.5in.	Disabled	1.44M, 3.5in.

Advanced メニュー画面

項目		購入時の設定		変更内容	
CPU Configuration	Hyper-Threading Technology	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Integrated Peripherals	Onboard Audio	Auto	Disabled	Auto	Disabled
	Onboard 1394 Controller	Auto	Disabled	Auto	Disabled
	OnBoard LAN	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	OnBoard LAN Boot ROM	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Onboard Serial Port	Disabled	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ4 2E8/IRQ3 Auto	Disabled	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ4 2E8/IRQ3 Auto
	Onboard Parallel Port	Disabled 378/IRQ7 278/IRQ5 3BC/IRQ7		Disabled 378/IRQ7 278/IRQ5 3BC/IRQ7	
	Parallel Port Mode	Standard	SPP EPP 1.7 EPP 1.9 ECP ECP+EPP	Standard	SPP EPP 1.7 EPP 1.9 ECP ECP+EPP
PnP/PCI Configuration	Plug And Play O/S	No	Yes	No	Yes
USB Configuration	USB2.0 Controller	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled

Power メニュー画面

項目		購入時の設定		変更内容	
Suspend to RAM		Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
APM Configuration	Restore on AC Power Loss	Former-Sts On Off		Former-Sts On Off	
	Power On by PCI device	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Power On by PCI-Ex device	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Power On by Alarm	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled

Boot メニュー画面

項目		購入時の設定		変更内容	
Boot Device Priority	First Boot Device	Disabled	()	Disabled	()
	Second Boot Device	Disabled	()	Disabled	()
	Third Boot Device	Disabled	()	Disabled	()
	Fourth Boot Device	Disabled	()	Disabled	()

BIOS Setupユーティリティの設定項目

項目		購入時の設定		変更内容	
Boot Settings Configuration	BootUp NumLock Status	Off	On	Off	On
	Full Screen LOGO Show	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Security	Supervisor password	Clear	Set	Clear	Set
	User password	Clear	Set	Clear	Set
	Security Option	Setup	System	Setup	System
	Hard Disk Protection	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Security Chip	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled

付録

本機をご使用になる際に役立つ情報や本機の仕様などについて説明します。

お手入れ

▶本機のお手入れ

コンピュータ本体やキーボード、マウスなどの外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。



ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

リチウム電池の交換

「BIOS Setupユーティリティ」で設定した情報は、メインボード上のリチウム電池により保持されます。

本機で使用するリチウム電池は、次のとおりです。

- CR2032（または同等品）

リチウム電池は消耗品です。コンピュータの使用状況により異なりますが、寿命は約3年です。

リチウム電池の残量が少なくなると情報を保持できなくなり、「BIOS Setupユーティリティ」で設定した値が何もしないのに変わってしまいます。このような場合は、リチウム電池を交換してください。



- 小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- コンセントに電源プラグを接続したままで作業をしないでください。感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや、感電・火災の原因となります。



- 内蔵リチウム電池の交換は、本機の内部が高温になっている際には行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



リチウム電池の交換を行うと、現在の BIOS の設定情報は初期値に戻ります。リチウム電池の交換を行う前に、BIOS の設定値を記録しておくことをおすすめします。


 p.63 「BIOS の設定」

リチウム電池を交換する手順は、次のとおりです。作業を行う場合は、必要に応じて本機を横置きにしてもかまいません。

1 本機の電源を切り、本機に接続されているケーブル類（電源ケーブル等）をすべて外します。

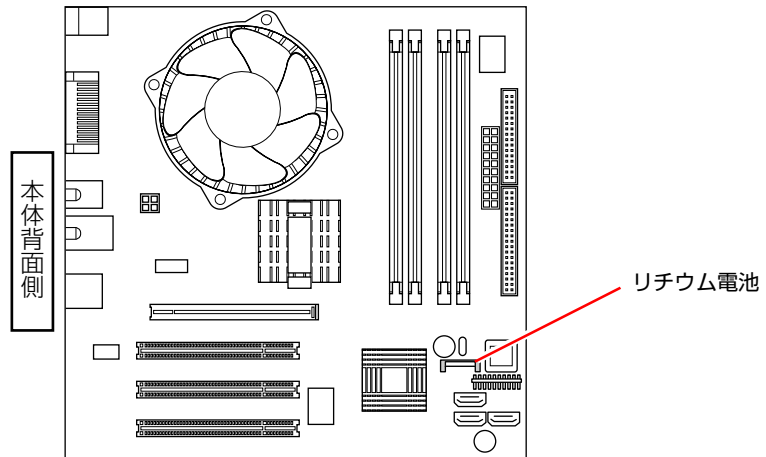
作業直前までコンピュータが動作していた場合は、内部が冷えるまで10分以上放置します。

2 本体カバー（左側）を取り外します。


 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」

3 リチウム電池の位置を確認します。

リチウム電池は、メインボード上の次の位置にあります。

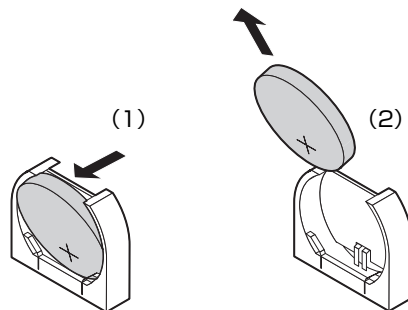


4 作業の妨げになる拡張ボードがあれば、取り外します。

 p.40 「拡張ボードの取り付け・取り外し」

5 リチウム電池を抜きます。

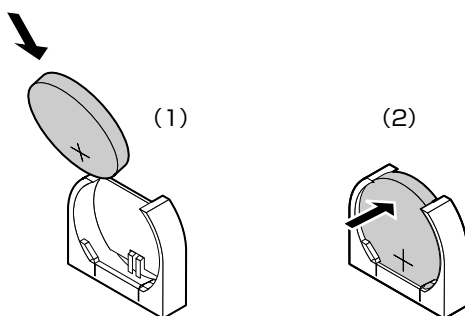
- (1) 電池ホルダ側から電池の上部を押します。
- (2) 電池が外れたら、上へ引き抜きます。




6 新しいリチウム電池を取り付けます。


刻印面（+側）が表側にくるようにして、新しいリチウム電池を取り付けます。

- (1) 電池ホルダに電池の下部を差し込みます。
(2) 矢印の方向へ押し込んでしっかりと取り付けます。


**7** 手順4で拡張ボードを取り外した場合は、もとどおりに取り付けます。

 p.40 「拡張ボードの取り付け・取り外し」


8 本体カバー（左側）を取り付けます。

 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」

9 コンピュータを使用できるように、本機のケーブル類（電源ケーブル等）をもとどおりに接続します。**10** コンピュータの電源を入れます。**11** EPSONと表示後、黒い画面に「CMOS checksum error - Defaults loaded」と表示されたら、**[Delete]**を押して、「BIOS Setupユーティリティ」を実行します。

 p.66 「BIOS Setupユーティリティの操作」

12 「Exit」メニュー画面－「Load Optimized Defaults（初期値に戻す）」を実行します。

 p.69 「Load Optimized Defaults（初期値に戻す）」

13 日付、時刻やそのほか変更する必要がある項目の再設定を行います。**14** 「Exit」メニュー画面－「Save & Exit Setup」を選択して「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。

CMOS RAMの初期化

CMOS RAMには、「BIOS Setupユーティリティ」で設定した各種情報などが保存されています。通常は、CMOS RAMを初期化する必要はありません。しかし「BIOS Setupユーティリティ」で設定したパスワードを忘れていたり、BIOSの設定を誤ったりして、本機が起動しなくなった場合には、CMOS RAMを初期化することで動作が可能になります。



- 小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- コンセントに電源プラグを接続したままで作業しないでください。感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや、感電・火災の原因となります。






- CMOS RAMの初期化は、本機の内部が高温になっている際には行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。








CMOS RAM を初期化すると、現在の BIOS の設定情報がクリアされます。CMOS RAM を初期化する前に、BIOS の設定値を記録しておくことをおすすめします。

 p.63 「BIOS の設定」

CMOS RAMの初期化の手順は、次のとおりです。作業を行う場合は、必要に応じて本機を横置きにしてもかまいません。

- 1 本機の電源を切り、本機に接続されているケーブル類をすべて外します。**
作業直前までコンピュータが動作していた場合は、内部が冷えるまで10分以上放置します。
- 2 本体カバー（左側）を取り外します。**
 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 3 拡張の妨げになる拡張ボードがあれば、取り外します。**
 p.40 「拡張ボードの取り付け・取り外し」
- 4 リチウム電池を取り外します。**
 p.85 「リチウム電池の交換」手順5
- 5 約1分間放置します。**

- 6** リチウム電池を取り付けます。
 p.85 「リチウム電池の交換」手順6
- 7** 手順3で拡張ボードを取り外した場合は、もとどおりに取り付けます。
 p.40 「拡張ボードの取り付け・取り外し」
- 8** 本体カバー（左側）を取り付けます。
 p.28 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 9** コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類をもとどおりに接続します。
- 10** コンピュータの電源を入れます。
- 11** EPSONと表示後、「CMOS checksum error - Defaults loaded」と表示されたら、**[Delete]**を押して、「BIOS Setupユーティリティ」を実行します。
 p.66 「BIOS Setupユーティリティの操作」
- 12** 「Exit」メニュー画面－「Load Optimized Defaults（初期値に戻す）」を実行します。
 p.69 「Load Optimized Defaults（初期値に戻す）」
- 13** 日付、時刻やそのほか変更の必要のある項目の再設定を行います。
- 14** 「Exit」メニュー画面－「Save & Exit Setup」を選択して「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。

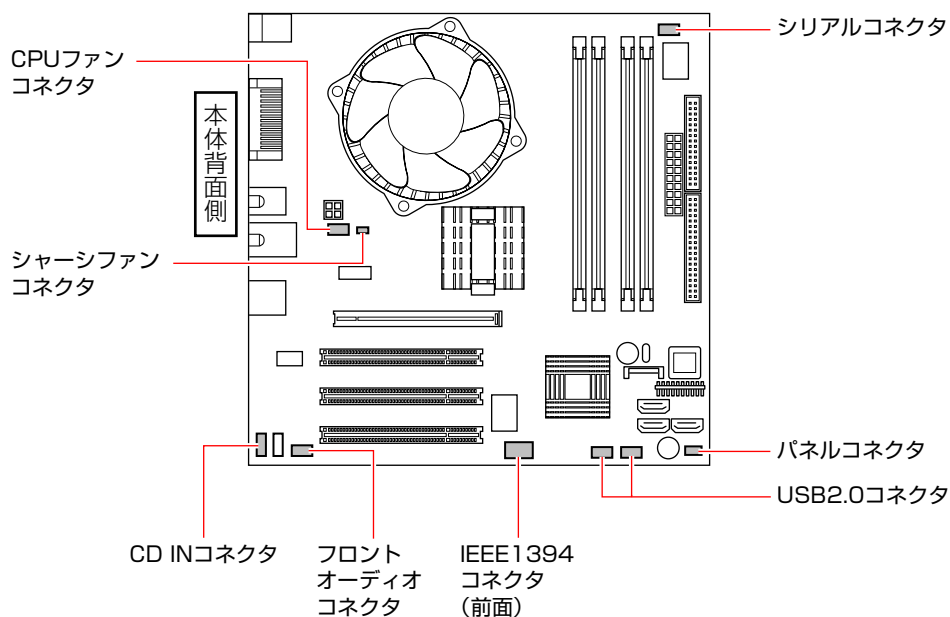
コンピュータ内部のケーブル接続

本機の内部には何本かのケーブルがあり、メインボードなどと接続されています。通常はこれらのケーブルを外したり接続したりする必要はありません。誤ってこれらのケーブルを外してしまった場合には、次の図を参照して、正しく接続してください。



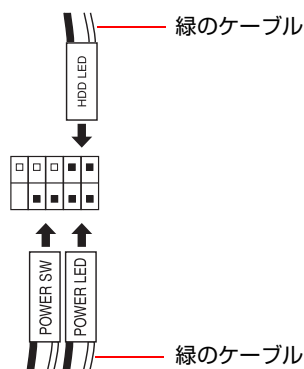
各種ケーブルは、本書で指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、ケーブルが焼損する場合があります。

コネクタ位置 (メインボード上)



パネルコネクタ

パネルコネクタには、次のようにケーブルを接続します。



警告メッセージが表示されたら

本機は、起動時に本体内蔵の自己診断テストを行い、内部ハードウェアの状態を診断します。起動時に次の警告メッセージが表示された場合には、各警告メッセージの処置を行ってください。処置を行ってもなおらない場合には、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。

警告メッセージ	説明および対処法
Floppy disk(s) fail	FDDが検出できません。コンピュータの電源を切り、20秒以上待ってから再起動してください。
DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK AND PRESS ENTER	HDDが検出できません。コンピュータの電源を切り、20秒以上待ってから再起動してください。
CPU temperature too high	CPUが高温になっています。コンピュータの電源を切り、コンピュータ内部が冷えるまで10分以上待ってから電源を入れてください。
CPU FAN rotating lower than 500rpm!!!	CPUファンが正常に動作していません。コンピュータの電源を切り、20秒以上待ってから再起動してください。
CPU over voltage error	CPUの電源電圧が異常です。コンピュータの電源を切り、コンピュータ内部が冷えるまで10分以上待ってから電源を入れてください。
Chassis FAN rotating lower than 400 rpm !!!	シャーシファンが正常に動作していません。コンピュータの電源を切り、20秒以上待ってから再起動してください。

機能仕様一覧

項目		LX 7700
CPU	プロセッサ	インテルPentium4プロセッサまたはインテルCeleron Dプロセッサ
	ソケット	LGA775Socket
チップセット		インテル945G Express+ICH7
BIOS		Phoenix-Award BIOS
セキュリティ チップ (TPM)	対応規格	TPM 1.1b (TPMはLinuxでは動作しません)
	コントローラ	Infineon SLD9630
メインメモリ		PC2-4200 (DDR2-533 SDRAM) を使用して最大3GBまで搭載可能
ビデオコントローラ/メモリ		インテル945G Intel Graphics Media Accelerator 950
サウンドコントローラ		チップセット内蔵 (インテルHDオーディオ (リアルテックオーディオ CODEC))
記憶装置	HDD	S-ATA300対応HDD1台内蔵 (種類、台数は購入時の選択による)
	CD/DVDドライブ	CD/DVDドライブを1台内蔵 (種類、台数は購入時の選択による)
	FDD (オプション)	オプション選択された場合、3.5型FDDを1台内蔵
インタフェース	USB	6 : USB2.0 (前面側×2、背面側×4)
	LAN	1 : RJ-45 10Base-T/100Base-TX対応 自動認識
	サウンド	フロントスピーカ/ライン出力コネクタ×1、センタースピーカ/サブウーファ出力コネクタ×1、リアスピーカ出力コネクタ×1、サイドスピーカ出力コネクタ×1、ライン入力コネクタ×1、マイク入力コネクタ×1
	ディスプレイ	1 : アナログRGB ミニD-SUB 15ピン
	IEEE1394	2 : 前面側4ピン、背面側6ピン
	キーボード	1 : IBM PS/2互換 ミニDIN 6ピン
	マウス	1 : IBM PS/2互換 ミニDIN 6ピン
	パラレル	1 : セントロニクス社準拠 D-SUB 25ピン マルチモード双方向 ECP/EPPサポート
	シリアル	1 : RS-232C準拠 D-SUB 9ピン
ドライブベイ	3.5型ドライブベイ	1 : オプション選択された場合、3.5型FDDを1台装着済み
	5.25型ドライブベイ	2 : CD/DVDドライブ1台を装着済み
	HDDベイ	3 : S-ATA HDD1台を装着済み
外部拡張 スロット	PCI Express x16	1 : ボード長230mmまで装着可能
	PCI	1 : ボード長190mmまで装着可能 2 : ボード長200mmまで装着可能
キーボード		日本語対応109 PS/2キーボード
マウス		ホイール付PS/2マウス
カレンダー時計		内蔵 (リチウム電池によりバックアップ)
電源容量		350W
入力電圧		AC100V±10% 50/60 Hz
温湿度条件		温度 : 10~35°C
		湿度 : 20~80% (ただし、結露しないこと)
外形寸法 (縦置き時)		本体 : 約179 (幅) ×406 (奥行) ×368 (高さ) mm (突起部除く)
質量		本体 : 約11kg (本体のみ)
消費電力	最大消費電力	540W
	待機時消費電力	3.5W

Memo

使用限定について

本製品は、OA機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24時間稼働システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

有寿命部品について

当社のコンピュータには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日約8時間、1ヶ月で25日間のご使用で約5年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保障期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

JIS C 61000-3-2適合品

本製品は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

PCリサイクルマークについて



PCリサイクルマーク付きの弊社製品は、弊社が無償で回収、再資源化いたします。詳細は下記ホームページをご参照ください。

<http://www.epson.jp/ecology/index.html>

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販のCD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を越えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

インテル、Pentium、Celeronはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

PS/2はInternational Business Machinesの登録商標です。

i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKのロゴ「i」は、ソニー株式会社の商標です。

そのほかの社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

